

平成三十年度 被災地における方言の活性化支援事業

被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開

—— 名取市における市民団体の協力による方言の音声資料 ——

声で残す名取のなつかしい方言集

櫛引 祐希子（大阪教育大学）

「方言を語り残そう会」（宮城県名取市・代表 金岡律子）

二〇一九（平成三二）年 三月

東北大学方言研究センター

平成三十年 被災地における方言の活性化支援事業

被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開

—— 名取市における市民団体の協力による方言の音声資料 ——

声で残す名取のなつかしい方言集

櫛引 祐希子（大阪教育大学）

「方言を語り残そう会」（宮城県名取市・代表 金岡律子）

二〇一九（平成三二）年 三月

東北大学方言研究センター

はじめに

『声で残す名取のなつかしい方言集』を作成した意図を説明するには、東日本大震災のあった平成二十三年十一月に宮城県の名取市観光協会が発刊した方言語彙集『おはようござりす』について先に触れなければならぬ。『おはようござりす』の冒頭には、名取市観光協会がこの方言集に込めた思いが述べられている。

現代の若者は、幼少期からの語学教育やテレビ・ラジオ等のマスメディアの発達により、皆標準語を話せるようになっていす。

しかし、地方にはまだまだ多くの方言が存在しており、ある意味では祖先が残した貴重な文化遺産となっています。

これらの方言を伝承していくことにより、現代社会において失われつつある人間の心の豊かさや温もり、その地域の良さを再発見できればとても素晴らしいことではないでしょうか。

『おはようござりす』は、「なとりの方言」と「地名の由来」の二部構成である。全四十一頁のなかで「なとりの方言」は二十五頁

を占め、七九四語の語彙が収載されている。そして「あがあげず…あかとんぼ」「まやう…弁償する」「もうす…買い物で店の人を呼ぶ言葉」というように、「方言の語彙…共通語の語彙ないし共通語による説明」という形式で五十音順に並べられており、一般的な方言語彙集の体裁を成している。

この『おはようござりす』をさらに有効に活用することができるのではないかと考えたのが、地元で方言の継承活動をしている「方言を語り残そう会」（現在、平均年齢七五歳。代表金岡律子氏）である。「方言を語り残そう会」は、平成二十一年に地元で活動していた民話の語り部養成の会から派生して本格的に活動を始めた。名取方言のカルタの作成や小学校での方言による民話の語り教育などを実践してきたが、平成二十三年に東日本大震災を経験してからは、仮設住宅での方言による慰問活動や震災を方言で詠んだ句集『負けねっちゃ』詩集『生きるっちゃ』を制作するなど多岐にわたって活動を展開している。

だが、一貫しているのは地元の方言を次世代に継いでいきたいという思いである。そして、そのためには自分たちの「声」が欠かせないと考えている。会の発足以来、発刊を続けている地元の民話と創作民話を集めた『方言おかしばなし 名取ざっと昔』の一卷と

二巻においても、会員たちは必ず自らの声で昔話を朗読したCDを作成している。方言の繊細で微妙な発音やアクセントを文字に押し込めてしまうことへの違和感がその理由だが、それ以上に「方言を語り残そう会」が声にこだわるのは、生身の声の温かさが方言の温もりなのだと考えているからである。

昨年実施した被災地における方言の活性化支援事業「被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開―名取市における市民団体の協力による方言資料の音声化―」で「方言を語り残そう会」は方言詩集『生ぎるっちゃ』（平成二五年刊行）の朗読に参加した。

この時の朗読は「声で残す方言詩集『生ぎるっちゃ―大震災を乗り越えて―』」のCDとして世に出た。そして今回は第二弾として、『声で残す名取のなつかしい方言集』を作成したわけだが、これは平成二七年から「方言を語り残そう会」が取り組んできた方言集『おはようござりす』の検討作業の集大成でもある。

「方言を語り残そう会」は、方言集『おはようござりす』に収録された語彙を検討する過程で、共通語であると思われる語彙（たとえば「たらふく」「ひよろながい」）や会員が知らない語彙（たとえば「ちっちゃこい」「にわよせいっぱい」）を外す一方で、収録されていない語彙（たとえば「いぎなり（非常に）」「しづね」）を新たに加

えた。その結果、計五八六語の語彙が『声で残す名取のなつかしい方言集』の収録語彙として選ばれた。さらに、方言集『おはようござりす』の精神――伝統的な方言の継承と地域の文化の再発見――を引き継ぎ、二つの方針を立てた。

- 一、体裁は「方言…共通語」ではなく「共通語…方言」とする。
- 二、使用例を必ず用意する。

「方言を語り残そう会」が一つ目の方針を立てた理由は、次世代に方言を継ぐためである。方言を知らない世代に方言を伝えるには、共通語が先にある方が理解しやすいであろうと考えたのである。二つ目の方針も、方言を知らない世代に方言のありのままの姿を伝えるためである。また、共通語訳では伝えきれない意味を使用例で補うという目的もある。

たとえば「鳥肌」という意味の「さらさらいぼ」は、その使用例によって恐怖を感じても寒さを感じても使用されることがわかる。

● うう、おっかねぐで、さらさらいぼ出だ。

● ああ、寒ぐで寒ぐで、さらさらいぼだ。

また、「傷をつける・切り目をつける」という意味の「きっぱづける」の使用例も興味深い。

● あいや、その手、何したの、きっぱづけてわ。

● この袋、きっぱづけておくと、あと楽だぞ。

この二つの使用例から、「きっぱづける」が身体の表面の一部を切ることだけでなく、物の一部を切ることに使えるのがわかる。

だが、使用例は方言の意味や使用場面に応じて作成しやすいものとしにくいものがある。検討作業の結果、日常生活の会話の一部を切り取ったかのような使用例も作成されたが、一方で説明的なものや、意味の説明の補足として十分とはいえない使用例が生まれたのは否めない。

また、『声で残す名取のなつかしい方言集』では「共通語…方言」という体裁の意図を効果的に示すために、意味分類をしたうえで五十音順で「共通語…方言」を並べる形式をとった。設定した分類項目は、三三項目である。

1. 獣・鳥・両生類・爬虫類・虫（一五語）
2. 草・木・野菜（一〇語）
3. 自然現象・自然物・天候・地形（一四語）
4. 身体部位（一九語）
5. 体調・病氣・疾患・怪我（四〇語）
6. 衣類・装身具・履物（一五語）
7. 飲食物・食材・食生活（二七語）
8. 住居・建築・土地利用（二三語）
9. 日用品・金銭・祭事品（二七語）
10. 位置・方向・部分（九語）
11. 時間・時期・季節・行事（一七語）
12. 程度・数量・回数（一一語）
13. 人物・親戚関係・人間関係（二六語）
14. 人物の性格・態度・身体的特徴・職業・特性（五二語）
15. 形状・サイズ（九語）
16. 様態・態度（三九語）
17. 味覚・嗅覚・触感（一二語）
18. 感情・評価（二七語）
19. 発言・発話に関わる行為・活動（一四語）

20. 飲食に関わる行為・活動（五語）
21. 移動に関わる行為・活動（一〇語）
22. 心情・思考に関わる行為・活動（一七語）
23. 労働（家事・農作業・就業）に関わる行為・活動（一三語）
24. 睡眠・休息に関わる行為・活動（七語）
25. 汚損・破壊・切断に関わる行為・活動（一〇語）
26. 剥奪・剥落・落下に関わる行為・活動（六語）
27. 育成・成長に関わる行為・活動（八語）
28. 対象に働きかける行為・活動（三五語）
29. 人間関係・社会生活に関わる行為・活動（二四語）
30. 身体の動き・状態・変化（二一語）
31. 遊び・運動（一一語）
32. 相槌・疑問・呼びかけ・まじないなどの表現（一〇語）
33. 挨拶（三語）

意味で語彙を分類してから、分類ごとに共通語訳を五十音順で並べたことで、たとえば共通語訳では「けちな人」と説明される「いすびり」「すびたれ」「すわっぴり」「までかす」の違い（「あの人、ほんとにいすびりだっちゃんね。がめついでだ」「あの人、すびたれ

だから募金に一円だって出さねえよ」「あの人、すわっぴりでやんだなや。一緒に食いさ行がんね」「あの人までかすだおんね。すんしょ残すべおん」）や、「たくさん」と訳される「うんど」「こでっちり」「ふだ」の違い（「いやあ、このお土産、こだにうんどもらっぺいいのすか」「腹減んねようにや、こでっちりご飯分けてやっからな」「あそこの家は何でもふだふだあるんだなや」）について考える手がかりが読み手や聞き手に与えられることとなった。

だが、細かく見ていくと、意味分類の項目の設定や分類基準にいくつか問題がある。「感情・評価」と「心情・思考に関わる行為・活動」の差異化をはじめ、「対象に働きかける行為・活動」「身体の動き・変化」に他の語彙との共通項が見出しにくい語彙が集中して分類されるなど改善すべき点が多い。これは、研究者である筆者の責任に帰すものであり、今回の課題である。

とはいえ、こうした問題をはるかに上回るくらい「方言を語り残そう会」が作成した使用例とその声には、読み手と聞き手を引き付ける力がある。それは、方言が生活に裏うちされた言葉であり、地域の歴史を物語る生き証人であるからだろう。たとえば、「漬物」を意味する「おごご」や「大根漬け」を意味する「でえごんづけ」の使用例には、どちらも「お茶を飲む」という行為が出てくる。

●お茶飲みは、おごこさ限るな。

●さあ、でえごんづけでお茶っこ飲まいん。

これは、漬物をお茶請けにする東北の生活を反映したものである。これに限らず、誰かと「お茶を飲む」、つまり「お茶を飲みながら語り合う」という場面を切り取った使用例は実に多い。気心の知れた者同士のささやかな日常の風景が垣間見えるようである。

また、使用例を通して見えてくる風景の中には、かつての懐かしい生活もある。「木片」を意味する「きっこばず」（きっこばず集めてこい。風呂焚きに使うがら）や「藁で作ったたわし」を意味する「もだら」（鍋釜洗うとき、もだらでこすこす洗ったもんだ）は、現代の生活では縁遠くなったものである。

生活の風景から失われたのは、こうした日用品だけではない。たとえば、「忙しいから、赤ん坊を柱さゆつけておけ」の「ゆつける」は、「結いつける」という意味だが、赤ん坊に対してこのような行動をとるのは現代ではありえない。また、「下座」を意味する「きずり」の使用例は「きずりさ座んのは、嫁ごのあんただ」「母ちゃんの席、きずりだって昔教えてもらったっけな」の二例だが、こ

した生活の文化は現代の生活から失われつつある。

そして、現代の生活では使わなくなった、いわゆる差別語にあたる言葉も方言には少なくない。ここに掲載するかどうか迷ったのは事実であるが、方言がかつてあった生活の記憶を語り継ぐ言葉である以上、掲載することには意味があると最終的に判断した。

さて、『声で残す名取のなつかしい方言集』の使用例に自身の声を吹き込んだのは、「方言を語り残そう会」の中の八名の会員（女性六名、男性二名。六〇代から九〇代）である。宮城県出身者六名、岩手県出身者一名、奈良県出身者一名だが、宮城県外出身者も名取市での住歴は四十年以上である。こうした地域差と年齢差があるためか、あるいは録音という緊張を強いる状況であったためか、それぞれの発音には微妙な違いがある。いわゆる東北方言の伝統的な発音である語中語尾のカ・タ行音の有声化、キの口蓋化、連母音の融合、そして中舌母音などに差異があった。このため、方言語彙および使用例の表記は個々の発音に近い文字を当てることにし、統一していない。たとえば、共通語の「し」にあたる発音として「す」と「すい」があるのはこれが理由である。表題の「なつかすい」も、会員たちの発音に「なづがすい」

や「なつかしい」などばらつきがあったため、会員たちと相談し中間的な発音を表記として選んだ。

また、使用例にはそれぞれ簡単な共通語の説明を付している。共通語に置き換えられない語彙や文末表現のニュアンスがうまく表せないものが複数あるため、逐語的な共通語の訳になっていない。特に文末表現は、読み手や聞き手の判断を仰ぎたい。

使用例の録音は、平成三十一年の一月一三、一四日と二月一五、一六日に名取市市民活動支援センターの会議室でおこなった。センターの職員をはじめ利用者の方々も可能な限り無音の状態を作ることに協力くださったが、多少のノイズが朗読の声と重なってしまっただ使用例がいくつかある。この点も、今後機会があれば改善したい。

以上で述べたように、『声で残す名取のなつかしい方言集』では録音、使用例、意味分類など様々な課題を残すこととなったが、計五八六語の方言語彙とその使用例は十分に聞きこたえがある。東日本大震災のあった年に発行された方言集『おはようござりす』のさらなる活用を目指して検討作業を続けた「方言を語り残そう会」の活動と会員たちの「声」は、被災地の方言の活性化に確かな足跡を残したと言えるだろう。今後は、『声で残す名取のなつかしい方言集』が新たなきっかけとなり、被災地の方言がさらに活性化される

ことを願うばかりである。

なお、CDには使用例の後に年末と年始の行事である「おつつめ」と「ちゃせご」について男性が説明する談話が入っている。活き活きとした語り口で、年中行事を語る声にも耳を傾けてもらいたい。

録音・編集担当 榎引祐希子

名取のなつかしい方言

1. 獣・鳥・両生類・爬虫類・虫

▼【赤とんぼ】あけあけず

- あけあけずいたがら、とってける。静かに行って羽っこつかめ。
(赤とんぼいたがら、とってくれ。静かに行って羽をつかめ)

▼【牛】べこ

- あそこのべこ、仔っこなすたんだってなや。(あそこの牛、仔牛を産んだんだって)

▼【鱗】こげら

- ちゃんとこげら落としてから切るんだぞ。(ちゃんと鱗を落としてから切るんだぞ)

▼【おたまじゃくし】げえろご

- げえろごは蛙の子だっちゃ。(おたまじゃくしは、蛙の子だよ)

▼【蚕】おごさま

- おごさまが桑の葉食ってる音は、雨ふってるみでな音だなや。
(蚕が桑の葉を食べている音は、雨が降っているみたいだなや)

▼【蛙】びっち ※「びっき」とも言う。

- びっちの声、うるせごだ。(蛙の声、うるさいことだ)

▼【蛙(ひき蛙)】ふぐだびっち

- ふぐだびっち、おっきいからおつかねど。(ひき蛙は大きいから、怖い)

▼【シマヘビ】すずなめ

- すずなめだ、危ねえがら、逃げる。(しまへびだ、危ないから逃げる)
- そいづ、すずなめだから、大丈夫だべ。(それ、しまへびだから、大丈夫だろう)

▼【タニシ】つぶ

● 田んぼの中さつぶ、いっぺえだ。(田んぼの中にたにしがいっばいだ)

● つぶ、そんなにとつて、なにすんの。(たにし、そんなに獲つて、どうするの)

▼【トカゲ】かなげっちょ

● 庭さかなげっちょいっぺいるんだよ。(庭にトカゲがたくさんいるよ)

▼【鳥のフン】けし ※「けす」とも言う。

● 洗濯物さ、けし、かがんねえように気をつけさいん。(洗濯物に鳥のフンがかからないように気をつけなさい)

▼【トンビ】とおひ

● とおひが輪をかいで飛んでいだっけよ。(トンビが輪を描いて飛んで行ったよ)

▼【野良犬】のっつおいぬ

● のっつおいぬだから、ぼってやれ。(野良犬だから、追い払ってやれ)

▼【蜂】すがり

● すがりいっから、気をつけるよ。(蜂がいるから気をつけるよ)

▼【まむし】くっさび

● くっさび、毒もってからかまれねえよに気をつけるよ。(マムシは毒を持つてるから噛まれないように気をつける)

2. 草・木・野菜

▼【オオバコ】げろっぱ

- 昔なあ、げろっぱも食ったもんだ。(昔はな、オオバコも食べたもんだ)

▼【ゴボウ】ごんぼ

- ごんぼ煎り、作ったがら。(ゴボウの煎りもの、作ったがら)

▼【笹竹の切り株】かっぱ

- 藪越えへ出っと、かっぱさすがら氣つける。(藪越えに出ると、笹竹の切り株が刺すから氣をつける)

▼【サヤエンドウ】にどまめ

- そろそろ、にどまめ撒く時期だぞ。(そろそろサヤエンドウを撒く時期だぞ)

▼【サルスベリ(百日紅)】さぐずこ

- 今年もさぐずこ、いっぺ咲いたね。美しいぞだ。(今年もサルスベリ、いっぺ咲いたね。美しいぞだ)

▼【じゃが芋】にどいも

- そろそろ、にどいも植えっから用意するわ。(そろそろじゃが芋を植えるから用意しろ)

▼【トウモロコシ】とうみぎ

- とうみぎ茹でだから、食べさいん。(とうもろこしを茹でたら、食べなさい)

▼【葱】ねぶか ※「ねぶか」とも言う。

- ねぶかの根っこ泥、落としてから持ってこい。(葱の根元にある泥を落としてから持って来い)

- まだ、ねぶか汁が。他にねえのがや。(また葱の味噌汁が、他にないのかね)

▼【山芋・長芋の一種】らぐだいも

- らぐだいも、すりおろしてご飯食うど、んめえんだ。(山芋をすりおろしてご飯を食べると、おいしいぞ)

▼【ヨモギ】もづくさ

●草餅作っから、もづくさ摘んでこう。(草餅を作るから、ヨモギを摘んで来い)

3. 自然現象・自然物・天候・地形

▼【雨】おしめり

●天気が続いて野菜だめになる。少しおしめりあつといいんだがなや。(天気が続いて野菜がだめになる。少し雨が降るといいんだが)

●日照り続いだがら、良いおしめりだ。(左が続いたから、良い雨だ)

▼【稲妻】おひかり

●おひかり鳴ったがら、臍かくせ。(稲妻が鳴ったから、臍を隠せ)

▼【雷】おれさま ※「おれえさん」とも言う。

●おれさま鳴ったがら、雨降るぞ。(雷が鳴ったから、雨が降るよ)

●おれさま鳴ったら、へそとられっから、早く隠せ。(雷が鳴ったら、雷様に臍を取られるから早く隠せ)

▼【崖】がんげ

● がんけから転げで怪我したんだと。(崖から転げて怪我をしたのだと)

▼【凍る】すいみる

● いやあ、夕べの寒さで、よう大根よぐすみだなんや。(夕べの寒さで大根がよく凍った)

● 今朝、寒いから洗濯物干したっけば、いやあ先からすみでんのわ。(今朝は寒いから洗濯物を干したら、先から凍っているんだ)

▼【地面の凍結】たっぺ

● そごらたっぺになってっから、気づけて帰らいんよ。(そのあたりの地面が凍結してるから、気づけて帰りなさいよ)

▼【水面に立つ波】なぐら

● 大きい船来たがら、なぐら立った。(大きい船が来たから水面に波が立った)

▼【太陽】おでんとさん

● おでんとさん出て来たから洗濯物ほしててける。(太陽が出て来たから洗濯物ほしてくれ)

▼【氷柱】たろひ

● 「今年のたろひ、ちゃっこいな」「あったけがらだっちゃ」
(「今年の氷柱、小さいな」「温かいからだよね」)

▼【泥】でろ

● あら、顔さでろ付いですと。(あら、顔に泥がついてるよ)
● でろ落どしてがら、家さあがれよ。(泥を落としてから家に入あがれ)

▼【泥(裾にはねたもの)】すっぱね

● スピードを出して走って来た車に、すっぱねかけらったんだ。(スピードを出して走って来た車に泥を裾にはねられた)

▼【ぬかるみ】げいご

● まにわさ撒いた水でわらすだづ遊んだがら、げいごになったわ。

(前庭に撒いた水で子どもたちが遊んだから、ぬかるみになっ
たよ)

▼【灰】あぐ

●お練香のあぐ、落とすなよ。(お練香の灰、落とすなよ)

▼【山のふもと】やまね

●おらいの家、やまねなんだ。(私の家は山のふもとにあるんだ)

4. 身体部位

▼【顎】おどげ

●おどげぶっつけた。(顎をぶっつけた)

●おどげさご飯、ついてっと。(顎にご飯粒ついてるよ)

▼【腕】けえな

●あんだのけえな、ふっといごだ。(あなたの腕は、太いこと

だ)

●やあ、久しぶりの畑仕事でけえな痛くなった。(やあ、久し

ぶりの畑仕事で腕が痛くなった)

●五十肩でけえな痛くて寝てもいらんねえ。(五十肩で腕が痛く

て寝ていられない)

▼【おかっぱ】ざんぎり

●ざんぎり頭よく似合っつごだ。(おかっぱ、よく似合ってる

ことだ)

▼【踵】あぐど

●あそこのわらすこ、遊んでいであぐど怪我すたんだや。気つ

けるよ。(あそこの子ども、遊んでいて踵を怪我したんだそう
だ。気をつけるよ)

▼【首】くびた

●寝違て、くびた痛えごだな。(寝違えて首が痛いな)

●寒いから、くびた襟巻すたら温けえな。(寒いから首にマフラ
ーを巻くと温かいな)

▼【声】つぼっけ

●なんだや、もう少し、静かにや。つぼっけ、高いごだ。(もう
少し静かに。声が高いな)

▼【乳】っこ

●おほこさっこ飲ましえっから、ちよっと待ってるや。(赤ん坊
に乳をのませるから、ちよっろ待ってて)

▼【唾】たんべ

●そんな所さたんべすてだめだど。(そんな所に唾を履いたらだ
めだ)

▼【つむじ】まぐめ

●珍すいごだ。まぐめ二つあるんだど。(珍しいな。つむじが二
つあるんだそうだ)

●まぐめ、ふたつもある人は強い人だどや。(つむじが二
つある人は、強い人だそうだ)

●あの人のまぐめ、反対だな。(あの人のつむじは、反対巻
だ)

▼【喉元】のどべ

●のどべさ、餅ひっかけすなよ。(喉に餅をひっかけるなよ)

▼【禿】すらっばげ

●すらっばげだがら、かづらかぶってるって。(禿げているから、
かづらをかぶっているって)

▼【額】なずじ

●熱っこあってえ。なずじば氷で冷やさいん。(熱があって。額
を氷で冷やしなさい)

▼【頬】ひてこび

●いやあ、あんたのひてこび広いね。(あんたの頬、広いね)

▼【太もも】ももた

●やあ、歩きすぎてももた痛えわな。(歩きすぎて太ももが痛いな)

●いやあ、ももたはって痛えごだな。(太ももがはって痛いな)

▼【頬】ほったぶ

●あいや、あのわらすこ、ほったぶ赤いごだ、寒いのがや。

(あの子ども、頬が赤いな、寒いのかな)

●ほったぶさ霜焼けでぎで、かゆいっちゃんや。(頬に霜焼けができて、かゆいな)

▼【ぼんのくぼ】ぶんのぐど

●ずっと下向いで仕事すったから、ぶんのぐど、痛えごだ。(ずっと下向いで仕事したから、ぼんのくぼが痛い)

▼【眉毛】このげ

●焚火したらや、このげ燃えてしまったや。(焚火したら、眉毛が燃えてしまった)

▼【胸】むなめ

●めぐせがら、むなめはだけで歩くなよ。(見苦しいから、胸をはだけて歩くなよ)

▼【眼】まなぐ

●あいや、まなぐさゴミが入って痛えごだなや。(目にゴミが入って痛いな)

5. 体調・病気・疾患・怪我

▼【痣になる】くろつよる

●膝ぶつけてくろつよったあ。(膝をぶつけて痣になった)

▼【いがらっぽい】えごい

●喉、えごい。あくが強くて喉えごいごだ。(喉がいがらっぽい、あくが強くて、のどがいがらっぽいな)

▼【息苦しいこと】いぎっぼ(で)

●満員電車に乗ったっけ、いぎっぼくで困ってしまった。(満員電車に乗ったら、息苦しくて困ってしまった)

▼【いびき】はなぐら

●はなぐらかいで寝でだ。(いびきをかいて寝ていた)

▼【うおのめ】いよのめ

●何すたんだが、足さいよのめ出んだや。(何したんだか、足にうおのめができた)

▼【音のない屁】すかすっぺ

●誰だ、すかすっぺしたの。臭えごだ。(誰だ、音のない屁をしたの。臭いな)

▼【かじかむこと】かんず

●手袋しねがったから、手の指、かんずになったわ。(手袋をしながったら、手の指がかじかんだ)

▼【肩が張る】けんびきはる

●右肩、けんびきはって苦しいのっしゃ。(右の肩が張って苦しい)

▼【吃音になる】まますぐ

●緊張すつと、まますぐんだよ。(緊張すると、吃音になるんだよ)

▼【ぎっくり腰】ぎっくりらこし

●いやあ、昨日重て物たんがいて、ぎっくりらこしすてしまったなやあ。(昨日重たい物を運んで、ぎっくり腰になってしまった)

▼【くしゃみ】あくしょん

●ああ、風邪ひいですまった。あつくしょんって鼻水たれるや。

(風邪ひいでしまった。くしゃみして鼻水がたれる)

●なんだべえ、こっつ向いてあくしょんすんなよ、汚たねごだ。

あつっ向いてする。(なんだ、こっち向いてくしゃみをするな。
汚いな。あっち向いてしろ)

▼【具合が悪い】あんべわれえ

●あんだ、そんなにあんべわれえんなら、医者さ行げ。(そんなに
に具合が悪いのなら、医者に行け)

▼【下痢】ざっぴり

●食あたりすたのがな、ざっぴりになった。(食あたりしたのか
な、下痢になった)

▼【下痢】はらびり

●何食ったんだや、おら腹痛えごど。はらびりになったや。(何
を食べたんだか、腹が痛い。下痢になってしまった)

▼【衰弱する・生気がなくなる】がおる

●水やんねがら、花がおつてすいまった。(水をやらないから花
が萎れてしまった)

●身体弱つてすいまって、がおったや。(体力がなくなってしま
って、肉体的に衰弱した)

▼【筋を違える】ひつつげる

●夕べね、寝でて、首っこひつつげてしまつて痛えごだね。(夕
べ寝ていて、首の筋を違えてしまつて痛いことだ)

▼【卒倒する】ぶっける

●いや、おらびっくりすたや。父ちゃん、急にぶっけたんだおん。
(驚いたよ。父親が急に卒倒したんだ)

▼【体調がすぐれない】すげねえ

●あんだ、すげねえ顔して何すたの。風邪でもひいたんでねすか。
(あなた、体調がすぐれない顔してどうしたの。風邪でもひい
たのではないですか)

▼【大便】えんこ

● えんこたつて来っから、ちよつと待ってろな。(大便をして(垂れて)くるから、待ってて)

▼【体力がない】がせねえ

● いやあ、風邪ばりひいててやあ、がせねえな。(風ばかりひいていて体力がないな)

▼【痰】たんこ

● 風邪ひいて、たんこ出て止まんねえや。(風邪ひいて、痰が止まらない)

● たんこ詰まっど苦すいんがら、すっかりとれよ。(痰が詰まると苦しいから、しっかり取れよ)

▼【疲れた】こええ

● 働きすぎで、こえごだな。(働きすぎて疲れた)

▼【鳥肌】さらさらいぼ

● うう、おっかねぐで、さらさらいぼ出だ。(怖くて鳥肌が出た)

● ああ、寒ぐで寒ぐで、さらさらいぼだ。(寒くて寒くて鳥肌だ)

▼【難儀する】うざねはく

● ここまでうざねはいで登ってきた。(ここまで難儀して登ってきた)

● この仕事面倒くさくて、うざねはくなや。(この仕事は面倒で難儀した)

▼【寝小便】よずばり ※「よずはれ」とも言う。

● 雨だでば、よずばりたれで、布団、干せねべっちゃ。(雨が降っていて、寝小便で濡れた布団が干せない)

▼【喉に食べ物がかえること】のどっばみ

● 危ねえがら、のどっばみすねえように食えよ。(危ないから、喉につかえないように食べろよ)

▼【喉にひっかける】のぎく

●餅食う時、のどくなよ。氣つけて食えよ。(餅を食べる時は喉にひっかけるなよ。氣をつけて食べろよ)

▼【(どろっとした)鼻水・青っ鼻】ねぎりっぱな

●いや、めずらしいこた。見ろず、あのやるこ、ねぎりっぱな、垂らしてっちゃ。(珍しいな。あの男の子、青っ鼻を垂らしてろぞ)

▼【(大量の)鼻水】ぼっぱな

●風邪ひいだのがや、ぼっぱな流すて。(風邪を引いたのか、大量の鼻水を流して)

▼【歯の一部がないこと】はっかけ

●おらいのずいさん、はっかけなのは何でも食うんだよ。(私の家の祖父は、歯の一部がないのに何でも食べるんだよ)

▼【骨身にこたえること】ぎぐずぐ

●少し動いたばかりでも、体のあちこちぎぐずぐする。(少し動いただけでも、体のあちこちらの骨身にこたえるよ)

▼【満腹】くっつい

●いっぺ食って、腹くっつぐなった。(たくさん食べて、満腹になった)

▼【むかむかして氣持が悪い】むすずはしる

●食い過ぎだかして、むすずはしる。(食べ過ぎたのか、むかむかして氣持が悪い)

▼【目の病氣】めっちゃ

●何すてほだにめっちゃ悪くなったの。(どうしてそんなに目が悪くなったの)

●めっちゃでテレビ見らんねえなや。(目の病氣でテレビを見ることができない)

▼【目やに】めほ ※「めっちゃ」とも言う。

●顔洗ったのが、めほ付けでよ。(顔を洗ったのか。目やにを付けて)

● いやあ、目、悪いのが。めほ出して。（どうした、目が悪いのか。目を出して）

▼【麦粒腫（ものもらい）】ばか

● なんだかいずれと思ったけばや、目さばか出てたんだっちゃ。（なんだか違和感があると思ったら、目に物もらいが出てたんだ）

▼【やけど】やげぼっぼ

● 天ぶら揚げで、やげぼっぼなった。（天ぶらを揚げていて、やけどしてしまった）

▼【用便を漏らす】むぐす

● むぐすて洗うの、大変だ。ば。（用便を漏らしたものを洗うのは、大変だ）

▼【指のささくれ】さがさづめ

● まだ引っかけたわよ、ここや。さがさづめ痛えごだ。（また引っかけたよ、ここ。指のささくれは、痛いことだ）

▼【リンパ腺の腫れ】いのこ

● 股さいのこ出て、いずいなや。（股の部分にリンパ腺の腫れもができて違和感があるな）

6. 衣類・装身具・履物

▼【着るもの】いしょ

● 早くいしょ着る。(早く着なさい)

▼【子ども用の革履】じょじょ

● じょじょ履いで庭に出て遊ぶから。(革履を履いて庭に出て遊ぶから)

▼【子どもを背負う時に着る着物】ねんねこ

● 寒いから、ねんねこ着ておべ。(寒いからねんねこを着て背負え)

▼【地下足袋】はだしたび

● 魚の行商のときは、はだしたび、菜だな。(魚の行商をする時は、地下足袋が菜だな)

▼【女性用の防寒具・角巻】かぐまぎ

● 今かくまぎ持っている人、いねべおんな。風ふく時、かぐまぎ着つとあつたげえんだよ。(今、角巻持っている人、いないだ

ろうね。風が吹く時、角巻を身に着けると温かいんだよ)

▼【袖なしの上着(成人用にも使用)】ちゃんちゃんこ

● ちゃんちゃんこ着つと、温けど仕事もしやすいんだっちゃ。(ちゃんちゃんこを着ると、温かいし仕事もしやすいんだ)

▼【筒袖の着物】むずり

● 寒いって言うから、ばんちゃんさむずり持つてこう。(寒いって言うから、おばあちゃんにむずりを持つてこい)

▼【寝間着】ねいしょ

● 新しいねいしょで着るのは、気持ち良いなや。(新しい寝間着を身に着けるのは気持ちが良いな)

▼【歯の高い下駄】たがっぱ

● たがっぱ履いて応援の練習をしている人いるよ。(歯の高い下駄を履いて応援の練習をしている人があるよ)

▼【帽子】ちゃっぶ

● 外暑いんだから、ちゃっぶかぶってげ。(外は暑いんだから、帽子をかぶって行け)

▼【帽子のつば】べろ

● 暑い最中出かけっ時は、べろのおっきい帽子かぶってげよ。(暑い最中に出かける時は、つばの大きい帽子をかぶって行け)

▼【ぼろ】わんばれ

● そだなわんばれ着て恥ずかしいごだ。(そんなぼろを着て、恥ずかしいごだ)

▼【麦わら帽子】むんから

● 今日暑いから、むんから帽子かぶって仕事するよ。(今日は暑いから、麦わら帽子をかぶって仕事をしろよ)

▼【浴衣・湯上りに着る着物】ゆどり

● しっしょがらあがったら、ゆどり着ろよ。(風呂からあがったら、湯上りの着物を着ろよ)

▼【綿入りの半纏】どんぶく

● 冬寒い時、どんぶく着ると温えけんだよな。(冬の寒い時は、どんぶくを着ると温かいんだよな)

7. 飲食物・食材・食生活

▼【イカの塩辛】きりこみ

- イカ買ってこ、きりこみ作っから。（イカ、買ってこい。イカの塩辛を作るから）

▼【一食分】ひとがだけ

- ひとがだけだけんども、持ってけ。（一食分だけだけれど、持って行け）

▼【おから】きしやず

- きしやず、んめえごだ。（おからは美味しい）
- きしやず煎り作ったぞ。けえ。（おからの煎りものを作ったぞ。食べろ）

▼【貝】けんこ

- 開上のけんこは日本一。（開上地区で獲れた貝は、日本一だ）
- 今朝のみそ汁、けんこ汁だ。（今朝のみそ汁は、貝のみそ汁だ）
- けんことりさみんなで行ぐべ。（貝をとり、みんなで行こう）

▼【きな粉】まめご

- まめご引いたがら、きなこ餅でも作ったら。（きな粉を引いたから、きな粉の餅でも作ったら）

- まめご餅作ったがら、食べさいん。（きな粉の餅を作ったから、食べなさい）

▼【果物や野菜のへた】すびた ※「しびた」とも言う。

- おれんとこさすびたばり寄こして。（私の所に、へたの付いた部分ばかりを寄こして）

▼【口のまわりの汚れ】かんばん

- かんばん見つと、何食ったかわかっど。（口のまわりの汚れを見ると、何を食べたかわかるぞ）

- 鏡見て、かんばん、よぐ落どせ。（鏡を見て、口のまわりの汚れをよく落とせ）

▼【コップ酒】もっきり

- おんつぁんは、もっきり飲むのが好きだ。（おじさんは、コップ酒を飲むのが好きだ）

▼【ご飯・食事】おまま

●早くおまま食べ。学校、遅れっと。(早くご飯を食べろ。学校に遅れるぞ)

●みんな集まったら、おままにすっから。(みんな集まったら、ご飯にするからね)

●おままこぼすと、ばちあたっど。(ご飯をこぼすと、罰が当たるぞ)

▼【芯のある固い】ご飯【めっこめし】

●ちょっと水足んねぐて、晩げのおまま、めっこめしになってしまった。(ちょっと水が足らなくて、夕食が芯のあるご飯になってしまった)

▼【魚】どっと

●おらいのわらすこ、どっとって言って好きで食べんですが。(私の子ども、魚と言って、好きで食べるんです)

▼【魚のはらわた】ごんどわだ *使用例のみ音声あり

●ごんどわだ、そこらさ置いておくと、虫湧ぐがらなげるよ。(魚のはらわたをそこらに置いておくと虫が湧くから捨てる)

▼【サケ】さげのう

●さげのうとれたがら、はらこ飯、作っからね。(鮭が獲れたから、はらこ飯を作るからね)

▼【里芋の茎】からどり

●からどりの和え物、んめえもんだ。(里芋の茎の和え物は、美味しいものだ)

●雑煮さからどり入れっと味違うんだよ。(雑煮に里芋の茎を入れると味が違うんだよ)

▼【しゃこえび】こっぱはじき

●皮むくの面倒くせえけんど、こっぱはじきは、んめえんだ。(皮をむくのは面倒くさいけれど、しゃこえびは美味しい)

▼【旬を過ぎて珍しくなった食べ物】おわりはづもの

●このトマト、おらいのおわりはづものだけんど、食べてみらい

ん。(このトマト、私の家で作った旬を過ぎたものだけれど、食べてみなさい)

▼【赤飯】おごわ

● 神社のお祭りだから、おごわ蒸すか。(神社のお祭りだから、赤飯を焚くか)

● 孫振る舞いやっから、明日おごわにすっぺ。(孫振る舞いをやるから、明日は赤飯にしよう)

▼【大根漬け・沢庵】でえごんづけ

● さあ、でえごんづけでお茶っこ飲まいん。(大根漬けでお茶でも飲みなさい)

▼【大根の千切り】ひぎな

● ひぎな炒めだの、んまがったな。(大根の千切りを炒めたもの、美味しかったな)

▼【昼食】しんま

● しんまだがら、呼んで来い。(昼食だから呼んで来い)

▼【漬け物】おごご

● おごご、んまがった。(漬け物美味しかった)

● お茶飲みは、おごごさ限るな。(お茶を飲む時は、漬け物に限るな)

▼【どころてん】てんよ

● 今日は暑いっから、てんよ食うべ。(今日は暑いから、どころてんを食べよう)

▼【煮小豆】にずぶすい

● 今日寒いがら、にずぶすい作っか。(今日は寒いから、煮小豆を作ろうか)

▼【ニシン】かど

● 晚げのおかず、今日はかどにすっぺ。(夕飯のおかずは、今日はニシンにしよう)

● かどは煮るより、焼いた方がんめえんだ。(ニシンは煮るよりも焼いた方が美味しいんだ)

8. 住居・建築・土地利用

▼【糠】さぐず

●このさぐずで大根漬けって味いぐなっと。(この糠で大根漬けをすると、味が良くなるよ)

▼【ハゼ】かつか

●お正月の雑煮のだしにすっから、かつかどってきてける。(お正月の雑煮のだしにするから、ハゼをとってきてくれ)

▼【焼きおにぎり】やぎめすい

●やぎめすい、忘れんなよ。(焼きおにぎり、忘れんなよ)

▼よせ【畦】あぜ

●田んぼのよせ刈りで疲れだや。(田んぼの畦の草刈りして疲れた)

●螢見ののに、たんぼのよせ歩いたら田んぼにはまった。(螢を見るのに田んぼの畦を歩いたら、田んぼの中にはまった)

▼【(あなたの)家】あんだい

●あんだいは、どこにあんの。(あなたの家はどこにあるの)

●あんだいさ歩いて行くがら。(あなたの家に歩いて行くから)

▼【(私の)家】おらい

●おらいさ遊びさございん。お茶っこ飲むがら。(私の家に遊びに来なさい。お茶を飲むから)

▼【一戸建て】ころどや

●息子働くようになったおかげで、ころどやで暮らすことができたのっしや。(息子が働くようになったおかげで、一戸建て

で暮らすことができたの)

▼【田舎】せいこ

●今年こそお盆は、せいこさ帰っからな。(今年のお盆休みは、舎に帰るからな)

●おれ、せいこ育ちだがらくわがんね。(私は、田舎の育ちだからよくわからない)

▼【入口の戸】とぶぐづ

●とぶぐづ、閉めできたか。(入口の戸を閉めてきたか)

▼【囲炉裏】ろばた
いろり

●ろばたで餅を焼いたっちゃ。(囲炉裏で餅を焼いたね)

▼【表通り】けいど

●けいどのおばさんさ用足しに行っこ。(表通りのおばさんの所に用足しに行っこ)

▼【玄関】とのぐづ

●とのぐづさっ立てねえで、中さ入っせ。(玄関に立ってないで中に入りなさい)

▼【下座】きずり

●きずりさ座んのは、嫁ごのあんだだ。(下座に座るのは、嫁のあなただ)

●母ちゃんの席、きずりだっ昔教えてもらったっけな。(お母さんの席は下座だっ昔教えてもらった)

▼【神社や寺】によんによさん

●一日だから、よんによさんに行っくる。(一日だから、神社や寺に行っ神仏に祈っくる)

▼【流し】はすり ※「はしり」とも言う。

●食った茶碗は、はすりさ持っ行け。(食べ終わった茶碗は台所の流しに持っ行け)

●昔のはすりだから、暗くてなあ。(昔の流しだから、暗くてな)

▼【庭】ろうず

● ろうずの花、早く咲くといいね。(庭の花、早く咲くといいね)

▼【(家の前の)庭】まにわ

● あんだいのまにわ、いっぺえ花咲いでで美しいね。(あなたの家の前の庭に花がいっぱい咲いていて美しいね)

▼【墓】らんば

● そろそろお盆になっから、らんば掃除に行かんといがんな。(そろそろお盆だから、お墓を掃除しに行かないといけない)

▼【畑の土寄せ】さぐりきり

● そろそろさぐりきりしねえど、だめでねえが。(そろそろ畑の土寄せをしないとだめではないか)

▼【風呂】しっしょ ※「すっしょ」とも言う。

● しっしょさ行くぞ。ちよんでぬぐい、持ってこい。(風呂に行くぞ。風呂用の手拭を持って来い)

▼【風呂の育児語】じゃっぱ

● じゃっぱさ入えっぺ。(お風呂に入ろう)

▼【塀】へいがさ

● あそこの家のへいがさ、いづも美しい花、咲いてるね。(あそこの家の塀、いつも美しい花が咲いているね)

▼【便所】かんじよ

● かんじよ、掃除すつと美しいくなるんだ。(便所を掃除すると、美しくなるんだそうだ)

▼【棟】ぐす

● 地震で、ぐす壊れてすいまった。(地震で棟が壊れてしまった)

▼【屋敷周りに巡らせた林】えぐね

● えぐねあつから、風あたんねえんだなや。(屋敷のまわりになぐねがあるから、風よけになって風があたらないんだな)

▼【床板】いだめ

● いだめ美しいぐ拭げよ。(床板は美しく拭げよ)

9. 日用品・金銭・祭事品

▼【赤ん坊を入れる藁の籠】えんつこ ※「えんづこ」とも言う。

●仕事すつから太郎ばえんつこさ入れでおけ。(仕事をすつから太郎を赤ん坊を入れる藁の籠に入れておけ)

▼【薄い畳】うすべり

●この畳切れてすいまったがら、とりあえずうすべり敷いておくつちゃ。(この畳、切れてしまったがら、とりあえず薄い畳を敷いておこう)

▼【おがくず】きつくず

●きつくず払ってからへれ。(おがくずをは払ってから入れ)

▼【金槌】せえづづ

●釘出でつから、せえづづ持ってきてける。(釘が出るから、金槌持ってきてくれ)

●釘出てあぶねえがら、せえづづでぶつけてける。(釘が出て危ないから、金槌で打ってくれ)

▼【ガラスの破片】びんどろかけ

●びんどろかけ拾っておけ。危ねえがら。(ガラスの破片、拾っておけ。危ないから)

▼【急須】きびちよ ※「きびちよ」とも言う。

●きびちよもつてこお。お茶つこのむがら。(急須を持って来い。お茶を飲むから)

▼【こけし】きぼっこ

●いろんな形のきぼっこあるのね。めんこいこど。(色々な形のこけしがあるのね。可愛いことだ)

▼【ゴミ】ごんど

●ごんど、ごんどん燃やせ。(ゴミ、ごんどん燃やせ)

●ごんど集めておけ。たい肥にすつから。(ゴミを集めておけ。たい肥にするから)

▼【獅子舞】すすばつく

●すすばつく、おっきな口開けつとおつかねえなあ。(獅子舞が

大きな口を開けると怖いな)

▼【注連縄】おどすなわ

●正月来っから、おどすなわ、用意すねばねえな。(正月が来るから、注連縄を用意しなければならないな)

▼【しゃもじ】へら

●へらでおまんまよそってけさいん。(しゃもじでご飯をよそってください)

▼【植物を移植するために使うへら】しゃもろ

●畑さ行っから、しゃもろ持ってこい。(畑に行くから、植物の植え替え用のへらを持って来い)

▼【人肥】だら

●昔は畑さだらかけたもんだ。(昔は畑に人肥をかけたもんだ)

▼【石油缶・灯油缶】らんぶかん

●らんぶかん、からっぽだから配達してもらえ。(石油缶が空っ

ぽだから配達してもらえ)

▼【洗濯用の盥】せんたくばつ

●靴下洗うから、せんたくばつ持ってこい。(靴下を洗うから、洗濯用の盥を持って来い)

▼【つり銭】けえずで

●お菓子買ったら、けえずで忘ねでもらってがいな。(お菓子買ったら、釣銭を忘れないでもらってちょうだいな)

▼【紐】ひぼ

●古新聞、ひぼで結んでまどめでおげ。(古新聞、紐で結んでまどめでおげ)

●着物着せっから、ひぼ持ってこい。(着物を着せるから、紐を持って来い)

▼【紐の固い結び目】いぼこ

●何だ。いぼこに結んですまったのか。もう一回ちゃんと結び直せ。(紐を固く結んでしまったな。もう一回ちゃんと結び直せ)

【注】「できもの」の意味でも使う。

● 額の上さいぼこできたど。(額の上にてできものが出来たと)

▼【風呂用の手拭】ちよんてぬげ

● ちよんてぬげ、汚ねぐなつたがら、新すいのけさいん。(風呂用の手拭が汚くなったから、新しいのください)

▼【へそくり】ほまつ

● ほまつ貯めんのも、容易なことてねえな。(へそくりを貯めるのも、容易なことではないな)

▼【包丁】ほいちよ

● リンゴむっから、ほいじよ持ってこい。(リンゴを剥くから、包丁を持って来い)

▼【まな板】きりばん

● きりばんねえど、野菜切らんねえな。(まな板がないと、野菜を切ることができない)

▼【丸太棒】どんころ

● どんころ危ねえがら、どげでおけ。(丸太棒は危ないから、どけておけ)

● どんころくべだから、いつまでも火がつかねえ。(丸太棒をくべたから、いつまでも火がつかない)

▼【木片】きっこばず

● きっこばず集めてこい。風呂焚きを使うがら。(木片を集めてこい。風呂を焚くのに使うから)

▼【焼き網】わだすがね

● 魚焼くがら、わだすがね持ってこう。(魚を焼くから、焼き網を持って来い)

▼【藁で作ったたわし】もだら

● 鍋釜洗うとき、もだらでござござ洗ったもんだ。(鍋や鎌を洗う時、藁で作ったたわしでござござ洗ったものだ)

▼【藁を打つ木槌】つずぼ

● 葉打つすっから、つずぼ用意しろ。(葉打ちをするから、木槌を用意しろ)

10. 位置・方向・部分

▼【裏返し】けっちゃ

● 服ばけっちゃんに着てる。やんだごだ。(服を裏返しに着ている。

嫌なことだ)

● あんただけ、けっちゃんになってっと。(あなただけ、裏返しになってるよ)

▼【片方】かだひだ

● おれの足袋のかだひだ、どこさやった。(私の足袋の片方、どこにやった)

▼【片方】かてっぼ

● かてっぼしかねえぞ、もうかてっぼどこか探せ。(片方しかないぞ。もう片方がどこか探せ)

● かてっぼの手袋、どこさがいがった。(片方の手袋、どこに行かった)

▼【最後・びり】けっつ 注 「臀部」の意味でも使う。

● ああ、おら徒競走でけっつになっすいまったわ。(私は徒競

走でビリになってしまった)

▼【最後・ビリ】どっぺ

●おら運動会でどっぺになったわや。(運動会でビリになった)

▼【先端】さきべ

●棹のさきべさ蜻蛉止まったよ。(棹の先端に蜻蛉が止まったよ)

●親指のさきべ傷ついて痛えごだ。(親指の先端が傷ついて痛い)

▼【隅】すまこ ※「すまっこ」とも言う。

●あそこのすまっこさ財布置いどいだがら。(あそこの隅に財布を置いておいたから)

▼【端】はすべ

●そっちのはすべ、持ってこ。(そっちの端を持って来い)

▼【横向き】よごっちょ

●写真、よごっちょ向いで写ってますまったわ。(写真に横向きで移ってしまった)

11. 時間・時期・季節・行事

▼【明後日】やなあさって

●やなあさって行くがらね。(明後日に行くがらね)

▼【明後日の翌日】やなやなあさって

●やなやなあさって手術なんだどっしや。(明後日の翌日に手術なんだそうだ)

●やなやなあさってだが、わすれんな。(明後日の翌日だが、忘れるなよ)

▼【朝の間】あさま

●その仕事、あさまのうちに終わらせておけ。(その仕事は朝の間に終わらせておけ)

▼【一日・一日中】ひして

●お茶飲みにひして過ぎだ。(一日中、お茶を飲んで過ぎた)

●あの人来ると、ひしてお茶飲みだ。(あの人来ると、一日中、お茶飲みだ)

▼【いつでも（時間を定めない）】「いったりかったり

●「いったりかったり食ってだめだ。（いつでも食べてばかりいるのはだめだ）」

▼【いつも（間をあげずに）】「しっちり

●「あその家さ何がいいのが、しっちり来てんだね。（何が良いのか、あその家にいつも来てるんだね）」

▼【いつも（頻繁に）】「とろべづ

●「銭貸せ、銭貸せと、とろべづ来るんだ。（金を貸せ、金を貸せといつも来るんだ）」

▼【いつも（その都度）】「ばんきり

●「ばんきりおかずもらって、申す訳わけねえぞだ。（いつもおかずをもらって、申し訳ないぞだ）」

▼【いつの間に】「いづのこまに

●「いづのこまに日がくれてしまった。（いつの間にか日が暮れてしまった）」

▼【「昨日」おどでな

●「おどでなの話、なじよになった。（「昨日の話、どうなった）」

▼【「昨日」きのな

●「きのなの雪、すごかったね。（昨日の雪、すごかったね）」

▼【「歳末・年の瀬」おっつめ↓「おっつめ」について】を参照

●「今年も、おっつめになったな。（今年も年の瀬になったな）」

▼【「昨夜」ゆんべ

●「ゆんべは、なんだが眠れなかった。（昨夜はなんだか眠れなかった）」

▼【「正月一四日または一五日の左義長」ちゃせご↓「ちゃせご」について】を参照

●「わらすこたつ、ちゃせごに来っからお菓子準備しておけ。（子どもたちがちゃせごにくるから、お菓子を準備しておけ）」

▼【初秋】あきさか

●あきさかだなあ。あけずいるっちゃ。(初秋だな。蜻蛉がいる)

▼【そのうちに】いまずに

●いまずにおやつ食うべがら。(そのうちにおやつを食べるだらうから)

▼【毎回毎回】まいたりまいたり

●まいたりまいたり、旅行に行がねくともいいんでねえが。(毎回毎回、旅行に行かなくてもいいのではないか)

▼【夕方・今晚】ばんげ

●ばんげ集まっから来てけさいん。(今晚、集まるから来て下さい)

▼【来年の春】れいはる

●れいはる、嫁に行くんだどっしゃ。(来年の春に嫁に行くんだそうだ)

12. 程度・数量・回数

▼【一度に背負える分】ひとしよい

●ひとしよい背負ってどこさ行くのっしゃ。(一度に背負える分で、どこに行くの)

●これくれえでひとしよになっぺ。(これくらいで一度に背負えるだらう)

●手に持てねえ荷物は、ひとしよい分だけだ。(手に持てない荷物は、一度に背負える分だけだ)

▼【全部】そぐつと ※「そくつと」とも言う

●あいや、少すいも残さねえで、そぐつと持ってたんだっちゃ。(少しも残さないで、全部持っていったんだよ)

▼【たくさん】うんと

●いやあ、このお土産、こだにうんともらっていいのすか。(このおみやげを、こんなにたくさんもらって良いのですか)

▼【たくさん】こでっちり

●腹減んねようにや、こでっちりご飯分けてやっからな。(お腹

が空かないように、たくさんご飯を分けてやるからな)

▼【たくさん】ふだ

●あそこの家は何でもふだふだあるんだなや。(あそこの家は何でもたくさんあるんだな)

▼【たくさん・とても】でほど

●いやあ、でほど頭の良い人だごだ。(とても頭の良い人だ)

▼【とても・非常に】いぎなり

●おれさま、いぎなりおっかねかった。(雷がとても怖かった)

▼【とても・非常に】ばかすか

●いやあ、今日は仕事、ばかすかはかどったなや。(仕事が非常にばかどったな)

▼【何回も・何度も】なんけり

●なんけりもお参りする。(何回もお墓参りする)

▼【ほんの少し】ちょべつと

●そこのおごご、ちょべつと取ってけさいん。(そこの漬け物をほんの少し取ってください)

▼【もつと】いまつと

●このお菓子、あんまりめえがら、いまつとけろや。(このお菓子、とても美味しいから、もつとちょうだい)

●銭、いまつと欲しいなあ。(お金がもつと欲しいなあ)

13 人物・親戚関係・人間関係

▼【赤ん坊】おぼこ

● 田中さんちさおぼこ生まれたんだ。 (田中さんの家に赤ん坊が生まれたそうだ)

▼【兄・長男】おやがた

● 頼りになるおやがただ。 (頼りになる長男だぞ)

▼【縁故】えんつり

● おらいどあんだいは、えんつりだよ。 (私の家とあなたの家は縁故関係だよ)

● あそこの息子、えんつり頼って就職すんだ。 (あそこの息子は縁故を頼って就職するんだそうだ)

▼【お母さん】おがちゃん

● おがちゃん、元気がな。 (お母さん、元気かな)

● あんだのおがちゃん、変わりねえが。 (あなたのお母さんは、変わりないか)

▼【お母さん】かっちゃん

● おらいのかっちゃん、どこさ出かけたの。いつもかっちゃん、忙しいひとだがらね。 (お母さん、どこに出かけたの。いつも忙しい人だからね)

▼【おじさん】おんつあま

● 見てみる、おんつあま、かっこいいいべ。 (見てみる、おじさん、かっこいいだろう)

● あの人は、田中さんのおんつあまにあたる人だ。 (あの人は、田中さんのおじさんにあたる人)

▼【おじさん】おんつあん

● おんつあん、どこさ行くのっしや。 (おじさん、どこに行くのか)

● あの人は私のおんつあんですが。 (あの人は私のおじさんです)

▼【(他人の) 夫】だんぼ

● 隣のだんぼ、景気がいいのかな。 (隣の旦那さんは景気が良いのかな)

▼【男ども】やろめら

●あのやろめら、毎晩騒いでるんだ。（あの男ども、毎晩騒いでるんだ）

●やろめら集めてうるせえごだ。（男どもが集まって、うるさいごだ）

▼【男の子】やろっこ ※「やろご」とも言う。

●あのやろっこ、おもしろいやろっこだ。（あの男の子、おもしろい男の子だ）

▼【お兄さん】あんつあん

●あんつあんの言うことは、確かだからな。（お兄さんの言うことは確かだから）

▼【お兄さん】あんにゃ

●困ったごあつたら、あんにゃさ頼めばいい。（困ったことがあつたら、お兄さんに頼めばいい）

▼【お姉さん】あんね

●あんね、早くこう、こつただ、こつただ。（お姉さん、早く来て、こつちだ、こつちだ）

●あんねは器用だから小物作り、んめえよね。（お姉さんは器用だから、小物作りがうまいよね）

▼【おばあさん】ばんさま

●あんたんどごばんさま、元気がいい。（あなたの所のおばあさんは、元気がいい）

▼【お前】うな

●うなにはわがんねべ。（お前にはわからないだろう）

▼【お前】ぬさ

●ぬさ、そこで何してんだ。（お前、そこで何をしてるのだ）

▼【家督・長男】いへもづ

●あんだいでもいへもづ産まれていがつたねえ。（あなたの家でも長男が生まれて良かったね）

▼【子ども】わらす

●今、わらす少なくともなったがら寂しいね。(今、子どもが少なくなつたから寂しいね)

▼【子ども】がきっこ

●がきっここのくせに大人顔負けなことを言う。(子どものかせに大人顔負けのことを言う)

●この頃のがきっこ、さっぱり言うこときかねえね。(この頃の子どもは言うことをきかないね)

▼【(他人の)妻】おがだ

●田中さんのおがだだ。(田中さんの奥さんだ)

▼【(自分の)妻】がが

●おらいのががは、元氣ですが。(私の妻は元氣です)

▼【弟】しゃでっこ

●おれのしゃでっこですが。(私の弟です)

▼【末っ子】ばつつ ※「ばつつこ」とも言う。

●おらは八人兄弟のばつつこだ。(私は八人兄弟の末っ子だ)

▼【曾祖父母】おっびさん

●おっびさん、元氣すか。(ひいおじいさん、ひいおばあさんは、元氣ですか)

▼【分家】べっか

●べっかさ持って行ってこ。(分家に行ってこい)

▼【娘】あねこ ※「あねっこ」とも言う。

●今日、あねっこ休みだから手伝わせる。(今日は、娘が休みだから家の手伝いさせる)

14・人物の性格・態度・身体的特徴・職業・特性

▼【浅はかでおしゃべりな人】しゃがらなす

●あの人、しゃながらすだがらなあ。まだ何にも考えねでしゃべってんだおん。(あの人浅はかでおしゃべりな人だから、何も考えないでおしゃべりするんだ)

▼【浅はかで間が抜けている人】ほでなす

●あの人偉そうにみえっけどや、ほでだすだおんね。(あの人偉そうに見えるけれど、浅はかで間が抜けている)

▼【嘘つき・嘘をつくこと】うそこぎ

●そんなにうそこぎすんでねえど。(そんなに嘘をつくんでないよ)

●あの人、いつもうそこぎなんだから。(あの方は、いつも嘘つきなんだから)

▼【嘘つきな男性】てほやろ

●あの人、いつもでっけえことばり語って、てほやろうだおんな。(あの人、いつも大きなことを話して嘘つきだ)

▼【嘘つき・ほらふき】ほらこぎ

●あの人、ほらこぎだがら真に受けてだめだぞ。(あの方は、ほらふきだから、真に受けてはだめだぞ)

●ほらこぎばりしていと、遊んでもらえんなくなっから。(嘘ばかりついていると、遊んでもらえなくなるから)

▼【大食い】まぐれえ

●細い体っこして、まぐれえですが。(細い身体をして、大食いです)

●もらったお菓子、まぐれえすて胸焼けしたや。(もらったお菓子を食べ過ぎて胸焼けがした)

▼【おてんば】じゃば

●あの人、めんこいんだげんど、なんやじゃばだなや。(あの方は、かわいいんだけれど、おてんばだ)

▼【金持ち】ふぐすい

●あんだの家、ふぐすいごだや。(あなたの家は金持ちだ)

▼【気が変わりやすい人】きむぎや

● あいづや、さつきどころっと変わって、ほんぬきむぎやだな。
(あいつ先どころっと変わって本当に気が変わりやすいんだ)

▼【気が利く】きはすまる

● あそこの嫁ご、きはすまっと。(あそこの家のお嫁さんは、気が利く)

● あの人は、きはすまる人だっちゃ。(あの人は、気が利く人だ)

▼【気がふれている人】すんけたがり

● ああ、まだでっけな声出すて、すんけたがりみでえだなや。(ああ、また大きな声を出して、気がふれている人みたいだ)

▼【気性がげしい】きがね

● きがねことばり言って、ほんと困ったなや。(気性の激しさがわかることばかり言って、本当に困った)

● あの娘っこ、ずいぶん、きがねごだ。(あの娘はずいぶん気性がげしいことだ)

▼【気品がある】おぐれえ

● あの俳優さん、おぐれえごだ。(あの俳優さんは、気品があることだ)

● あの人の振舞、おぐれえなあ。(あの人の振舞は気品があるな)

▼【気難しい】いんびん ※「えんびん」とも言う。

● 田中さんはいんびんだから、話すの疲れるんだ。(田中さんは、気難しいから、おしゃべりするのに疲れるんだ)

● あの人の、いんびんたがりだっちゃね。(あの人は、気難しい人だね)

▼【器量が悪い・みっともない】みだぐなす ※悪態にも使う

● あのわらす、鼻ば垂らすてて、みだぐなすごだ。(あの子ども、鼻を垂らしてみっともないことだ)

● ありがたいの一言も言わねえ、あの女ご、みだぐなすだなや。
(ありがたいの一言も言わない。あの女は態度が悪い)

▼【食い意地が張っている人】いやすこ

●あの人はいやすこだがら、何でも食うんだ。(あの方は食り食う人だから、何でも食べるんだ)

▼【口が軽い】あざこねえ

●あの人さ言ってはだめだど。あざこねえんだがら。(あの人に言うのはだめだぞ。口が軽いんだから)

▼【けちな人】いすびり

●あの人、ほんとにいすびりだっちゃね。がめついごだ。(あの人、本当にけちだからね、がめついごだ)

▼【けちな人】すびたれ ※「すびたり」とも言う。

●すびたりおやじ、少しぐらい、おごったら良いっちゃねえ。(けちなおじさん、少しぐらいおごったら良いのにな)

●あの人、すびたれだから募金に一円だつて出さねえよ。(あの人、けちだから募金に一円も出さないよ)

▼【けちな人】すわっぴり

●あの人、すわっぴりでやんだなや。一緒に食いさ行がんね。(あ

の人はけちで嫌だな。一緒に食べに行けない)

▼【節約のために】けちな人】までかす

●あの人までかすだおんね。すんしょ残すべおん。(あの人、節約のためにけちな人だ。財産を残すだろう)

▼【仮病などで怠ける人】たれか

●あの人、ねくさってばりいて、たれかだごだね。ほんにやんだぐなつと。(あの方は怠ける人だね。本当に嫌になる)

▼【強情な人】おんつん

●あの人、おんつんだがら、友達いねえべおん。(強情な人だから、友達がいないだろう)

▼【神経質な人】けんのんたがり

●何回も手洗つて、まあず、けんのんたがりだごだ。(何回も手を洗つて、まあ神経質な人だ)

▼【ずばら】ずばら

●あの人、ずべらだから何も仕事を頼まんねでば。(あの方はずぼらだから、何も仕事を頼むことができない)

▼【短気】たんばら

●すぐたんばら起こすんだがら。(すぐ短気を起こすんだがら)

▼【慎ましい】まがすい

●あの人、まがすいから、あんまり誘うな。(あの方は、慎ましいから、あまり誘うな)

▼【でたらめを言う人】らっぱふぎ

●あの人、らっぱふぎだがらや、本気にすつとだめだど。(あの人、でたらめを言うひとだから、本気にするとだめだ)

▼【とんでもない人】ずらもの

●あいづな、ずらものだから信用ねえべ。(あいづはな、とんでもない人間だから信用がないだろう)

▼【急げもの】かばねやみ

●あの人、ほんにかばねやみだな。何もしねんだおんな。(あの人、本当に急げ者だな。何もしないんだものな)

▼【急げもの】なまだら

●あの人さ何か頼んでも、なまだらばりしてや、まあずなかなか出てこねえんだぞ。(あの人に何か頼んでも、急げてばかりで、なかなか出てこないんです)

▼【急げもの】やみぞう

●あいづはやみぞうでや、はっぱり動かねえ。(あいづは急げ者でさっぱり動かない)

▼【抜け目ない】すかさね

●みんな一つずつなのに、二つ持って行ったからすかさね。(みんなは一つずつなのに、二つ持って行ったから抜け目ない)

▼【能無しなこと】のつつお

●のつつおばりついで、この馬鹿野郎。(能無しなことばかりして、この馬鹿野郎)

▼【話がくどい人】ねっこほり

●あの人、ねっこほりだから、話すのにくたびれた。(あの人、話がくどいから、おしゃべりするのにくたびれた)

▼【左利き】ひだりこぎ

●ひだりこぎで、よく字書けっこだ。(利き手が左手でよく字が書けることだ)

●ひだりこぎだから、少しいずいんだ。(左利きだから、少し違和感があるんだ)

▼【ひねくれること】いびきづ

●そんなにいびきづすねで、やってけるや。(そんなにひねくれていないで、やってくれ)

▼【太った人】ずぐだま

●ずぐだまでも人よりよく動くね。(太っていても人よりよく動くね)

▼【屁理屈をこねる人】りぐつがたり

●あの人やあ、集まるたんびにりぐつがたりってなんや。(あの人集まるたびに屁理屈をこねるんだ)

▼【物もらい】ほいど

●ほいど、あつつこつつ回って歩いてっど。(物もらいがあちらこちら回って歩いてる)

▼【役立たず】ずぐだれ

●このずぐだれ、まだ母ちゃんにごっしゃがったわ。(この役立たず、またお母さんに怒られた)

▼【役立たず】たがらもの

●あの子の娘やあ、たがらものなんだごっしゃ。(あの子の娘は役立たずなんだそう)

●このたがらもの、早くかせがえ。(この役立たず、早く働け)

▼【痩せている人・痩せている様】がんだれ

●おまま食べねえがら、がんだれだ。(ご飯を食べないから痩

せている)

▼【欲が深い】よがこい

●何でも欲すがつて、よがこいごだから。(何でも欲しがつて欲が深いんだから)

●あの人は本当によがこい人だ。(あの人は本当に欲が深い人だ)

▼【欲張り】よくたがり

●あの人やあ、よくたがりだから、ここさあるもの全部持つてたんだどわ。(あの人は、欲張りだからここにあるものを全部持つていったんだそうだ)

▼【酔っ払い・酔いどれ】よつきり ※「よつきる(酔っ払う)」

●隣のとうちゃん、まだよつきて来た。(隣の家の父親は、また酔っ払つてきた)

▼【弱い人】あおたれ

●あんだ、何があつたのか。あおつたれた顔してつと。(何かあつたのか。具合が悪そうな弱つた顔して)

●「あいづ、あんばい悪くなつただど」「あいづは、あおつたれだがらな」(「あいづ、具合が悪くなつたそうだ」「あいつは弱い人からな」)

▼【乱暴者】さかず

●まあず、あのやろつこ、さかずだから声かけんなよ。(あの男の子、乱暴者だから声をかけるなよ)

▼【利己主義】わめぎり

●あの人、わめぎりでねえ、すかねごだ。自分だけいざればええんだおん。(あの人は、利己主義で好きではない。自分だけ良ければ良いんだ)

▼【獵師】てっぼぶづ

●おらのあんつあん、てっぼぶづだ。(私の兄は獵師だ)

▼【料理人】めんばん

●あの人、めんばんさんなんだよ。(あの人、料理人だな)

15・形状・サイズ

▼【大きい】でっけえ

●こんなでっけえ魚釣ったの見たごとねえ。(こんな大きい魚を釣ったの見たことがない)

▼【尻が出でいる状態】たなけつ

●たなけつつすて、畑仕事がんばってんな。(腰をしっかり曲げてお尻を出張らせて、畑仕事、頑張ってるな)

●立派なたなけつつすて、いやいや姿良いごだ。(立派に尻が出でいて、スタイルが良いごだ)

▼【小さい】ちゃっこい

●茄子でも胡瓜でも、ちゃっこいの取っとんめえだがら。(茄子でも胡瓜でも、小さいのを獲ると美味しいから)

▼【小さい】めっちゃこい

●めっちゃこい猫ごだ。(小さい猫だ)

●この鍵、めっちゃこいがらなぐすんでねえど。(この鍵、小さいからなくすんでないよ)

▼【鼻が低いこと】はなびちょ ※「はなべちょ」とも言う。

●あの娘よう、めんこいげんども、惜しいごとはなべちょだな。(あの娘、可愛いけれど、惜しいことに鼻が低い)

●おらいの孫、はなびちょだけんども、めんこいんだど。(私の孫は鼻が低いけれども、可愛いんだよ)

▼【低くなっている状態】くぼい

●この道路、くぼい所あつから、氣つける。(この道路は低いところがあるから、氣をつける)

▼【平たい】べつたらこい ※「べつたらいい」とも言う。

●何だ、この重ね餅、べつたらいごど。(なんだ、この重ね餅、平たいごだ)

▼【細長い】ながつびろい

●昔の学校は、廊下がながつびろかったおんね。(昔の学校は廊下が細長かったものね)

▼【眉毛や目が下がっている顔のこと】すっぺさがり

●あの娘、めんこいだけども、すっぺさがりだおんね。(あの娘は可愛いけれど、目や眉毛が下がっているね)

16・ 様態・態度

▼【足が地についでいない様】あふらとふら

●おらしいの息子、仕事もすねで、あふらとふらすてっから、なじよしたらよかんべな。(私の家の息子は仕事をしないで、地に足がついていないようだから、どうすれば良いのだろうか)

▼【忙しい様】てたばた

●人寄せあったから、てたばたしてとっても疲れた。(人寄せがあったから、忙しくてとても疲れた)

▼【急いでいる様】わらわら

●道草くわねでわらわら行ってこいよ。(道草をくわないで、急いで行ってこいよ)

▼【落ち着きがない様】ちしゃちしゃする

●あのわらす、教室の中でちしゃちしゃして。(あの子、教室の中で落ち着きがない)

●あのわらすこ、ちしゃちしゃすっから危ねえ。よく見てけさいよ。(あの子、落ち着きがなくて危ないから、よく見てください)

いよ)

▼【輝く様】てろてろ

●こいづ、てろてろに磨いでおげよ。(これを輝くように磨いておげよ)

▼【代わる代わる】うったげ

●誰に見せるわけでもねえのに、あの人、うったげに服着てっちなや。(誰に見せるわけでもないのに、あの方は代わる代わる服を着ているね)

▼【きちんと】きかっと

●あの人はいっつもきかっと仕事するんだよね。(あの方は、いっつもきちんと仕事するんだよね)

▼【ぎっしりと】びつと

●荷物ばびつとつめると、つぶれっから気つける。(荷物をぎっしりと詰めると、つぶれるから気をつける)

▼【急に】ぐいら

●ぐいら立って、どこさ行くのっしや。(急に立って、どこかに行くのか)

●ぐいら眩暈がしてしまったのっしや。(急に眩暈がしてきた)

▼【ぐずぐずしている様】ぐずらっしやら

●ぐずらっしやらしねえで早ぐしろ。(ぐずぐずしていないで早くしろ)

▼【ぐずぐず】ぐずらもずら

●あのわらす、ぐずらもずらして仕事はがどんね。(あの子、ぐずぐずして仕事はかどらない)

▼【元気がない様】べそっと

●何すただか。おらいのばあさん、べそっとなってや。(どうしたんだか、私の祖母は元気がなくなった)

▼【心が浮き立つ様】ほぎほぎ

●ほぎほぎして、友達と湯っこさ行ったのっしや。(心が浮き立

って友達と温泉に行った)

▼【(宴会や集会で)最後まで居残ること】すまぶり

●いっつもすまぶりしてんだがら。あんまり、かまうなよ。(いっつも最後まで居残るから、あまりかまうなよ)

▼【先を争う様】ばやくら

●兄弟なんだがらばやくらしてねえで、ちゃんと並んで食え。(兄弟で先を争うようにしないで、ちゃんと並んで食べる)

▼【さっばりと】さっばど

●おかずさっばど綺麗に食ってけらった。嬉しいごだ。(おかずをさっばりと綺麗に食べてくれた。嬉しい)

▼【精一杯な様】しっちり

●畑の草むしり、しっちりすたげっと、終わんねえなや。(畑の草むしり、精一杯したけれど終わらない)

▼【だらしない様】でれっと

●旦那は横座ででれっとしでる。(旦那は横座でだらしくしている)

▼【散らかっている様】とどらねえ

●家の中、とどらねえくて、人呼べねえんだ。(家の中が散らかっていて、人を呼べない)

▼【丁寧に扱う様・儉約する様子】まで

●新しい靴、買ってもらったばかりだから、丁寧に使えよ。(新しい靴は、買ってもらったばかりだから、丁寧に使えよ)

▼【手のつけようがない様子】めったにごった

●地震で部屋中めったにごったで手がつけらんねえ。(地震で部屋の中が手のつけようがないくらいの有様だ)

▼【手ぶらの状態】からみ

●あのおんつあん、いっつもからみで来んだど。(あのおじさん、いつも手ぶらで来るんだそうだ)

▼【手ぶらの状態】てんぼろげ

●あの人、いつつもてんぼろげで来るんだから。(あの人はいつても手ぶらで来るんだから)

▼【出来そこない】でそぐね *例文のみ音声あり

●天ぶら揚げたら、でそぐねで売り物になんねえ。(天ぶらを揚げたら、出来そこないで売り物にならない)

▼【どんちゃんかな様】あっぺとっぺ

●あっぺとっぺで訳わがんねえ。(頓珍漢で訳がわからない)

▼【のろのろしている様】のったくった

●のったくった歩ぐな、さっさと歩け。(のろのろ歩くな、さっさと歩け)

▼【端数であること・不揃いな様】はんくた

●このランプ、はんくたで遊ばんねえなあ。(このランプは、不揃いで遊べないな)

▼【一回りすること】ぐりっと

●回覧板だから、ぐりっとまわせよ。(回覧板だから一回りするように回せよ)

●おぼこ、眠たくて泣いてっから、ぐりっと歩いてっから。(赤ん坊が眠たくて泣いているから、一回り歩いてくるから)

▼【不器用なこと】てどくされ

●おら、手仕事ほだにこまごいの、てどくされでだめなんだ。(私は手仕事で細かいのは、不器用でだめなんだ)

▼【列々に】てんでに

●喧嘩すねえように、てんでに分けるよ。(喧嘩しないように列々に分けるよ)

▼【ぼんやりしている様子】のへっと

●のへっとすねで、しゃきっとすてせ。(ぼんやりしていないで、しゃきっとしなさい)

▼【ぼんやり】うがっと(して)

●うがっとして、財布忘れてきた。(ぼんやりしていて、財布を忘れてきた)

▼【満足に】ろくたま

●ろくたま仕事もしないで遊んでばかりいるんだがら。(満足に仕事もしないで遊んでばかりいるんだがら)・

▼【醜い】めぐせ

●あの化粧、めぐせごだ。(あの化粧は醜い)

▼【おやみやたら】ただむしょ

●あんなにあった大根、ただむしょけでやったんだっちゃわ。(あんなにあった大根をおやみやたらに人にあげたんだね)

▼【もたもたして遅い様】わさくさ

●朝の忙しい時、わさくさして邪魔ごだ。(朝の忙しい時に、もたもたして遅い邪魔なことだ)

▼【乱暴な様】むで

●仔っこ犬、生まれたばかりだがら、むでにすんなよ。(仔犬が生まれたばかりだから、乱暴にするなよ)

▼【立派な様】りきつとした

●いやあ、あそこの家の息子は、りきつとした青年だな。(あそこの家の息子は立派な青年だな)

▼【わざと】やくさら

●あの人、耳聞こえねえがら、やくさら大声で言ってやった。(あの人は耳が聞こえないから、わざと大声で言ってやった)

17・味覚・嗅覚・触感

▼【美味しい】んめえ

●このお菓子、んめえごだ。どこで買った。(このお菓子は美味しい。どこで買った)

●今日のおかず、んめえごったなや。(今日のおかず、美味しかった)

▼【塩辛い】しょっぱえ

●かあちゃん、この味噌汁、しょっぱえごだ。(お母さん、この味噌汁、しょっぱい)

▼【きな臭い】ひなくせえ

●何か燃えてんでねえの。ひなくせえど。(何か燃えてるのではないの。きな臭いぞ)

▼【焦げ臭い】いぶくせえ

●何だべ、いぶくせえごだ。どっか燃えてんでねえのすか。(何だろう、焦げ臭いことだ。どこか燃えてるのではないですか)

▼【硬い】しっかだこい

●いやあ、この大根漬はやあ、しっかだこくて噛み切らねえんだ。(大根漬が硬くて噛み切れないんだ)

▼【硬い】すなこい

●この沢庵、すなこくてくわんねえな。(この沢庵は硬くて噛み切れないな)

▼【(ご飯が)硬い】こわっぱすい

●こわっぱすいおままが好きだ。(固めのご飯が好きだ)

▼【しっくりこない・違和感がある】いずい

●おら、いづもの席でねえど、いずいんだ。(いつもの席ではないと、違和感がある)

▼【湿っぽい】やばつつい

●いやあ、あの赤ん坊、やばつつくて泣ぐからな、早くおすいめ替える。(あの赤ん坊、湿っぽいと泣くからな、早くおしめを取り替える)

18・感情・評価

▼【冷たい】しゃっこい

●この水、しゃっこくてんめえんなや。(この水、冷たくて美味しいな)

▼【冷たい】つぶてえ

●この水、つぶてえごだ。(この水は冷たい)

▼【やわらかい】やっこい

●ばんつあんのご飯、やっこくしてけるよ。(おばあさんのご飯は、やわらかくしてあげてよ)

▼【いい加減なこと】おっぐれ

●あの人、会合に行っても、おっぐればかり言うがら話なんかまどまんねんだ。(あの人、会合に行っても、いい加減なことばかり言うから、話がまどまらないんだ)

▼【うるさい・やかましい】しづね ※「しえづね」とも言う。

●わらす達、家のうちで騒いで、しづねごだ。(子どもたちが家の中で騒いで、うるさい)

▼【(非常に)うるさい・やかましい】いげしづね

●なんだって、おらしいの孫たづ、いげしづねえごだ。(私の孫たちは非常にやかましい)

▼【おかしい】おがつつね

●なんだって、おがつつねえんだ。あはは。(おかしいね、あはは)

●その恰好、おがつつねえなや。(その恰好、おかしいね)

▼【惜しい・もったいない】いただきます

●その着物、そんなにいただけますいのが。(その着物、そんなに惜しいのか)

▼【恐ろしい・怖い】おつかねえ

●大きな犬に吠えられて、おつかねえがった。(大きな犬に吠えられて、恐ろしかった)

●夕べ、おつかねえ夢見たんだよな。(夕べ、怖い夢を見たんだよな)

▼【驚く】どでん

●後ろから大きな声かけられ、どでんすたあ。(後ろから大きな声をかけられて、驚いた)

▼【可愛い】えらすこい

●あの赤ん坊、えらすこいなや。(あの赤ん坊、可愛いな)

●あのえらすこいの、あんだの赤ん坊だって。(あら、可愛い子だ。あなたの赤ん坊だって)

▼【可愛い】めぐい ※「めんこい」とも言う。

●おらいの孫くれえ、めぐいのいねえなや。(私の家の孫くらい、可愛いものはいないな)

▼【かわいそう】もぞこい

●苦勞ばかり続いて、なんてもぞこいごだな。(苦勞ばかり続いて、かわいそうだな)

▼【感心しない】でがさねえ

●なんだべや。でがさねえごだ。(どうだろう。感心しないことだ)

▼【気になる】ゆがすい

●遠くに行った娘やあ、何しているんだが、心配でおらゆがすいなやあ。(遠くに行った娘は何をしているんだか、私は気になるなあ)

▼【寂しい】とぜん

●誰もいねえくて、おらとぜんで寝らんねかった。(誰もいない)

と、寂しくて眠れなかった)

▼【上手な様】じよんた

●あいや、あんだ絵を描くの、じよんだごだ。(あなたは絵を描くのが上手だ)

▼【心配】すんべ

●何もすんべいらねえがら、待っててけさいん。(何も心配はいらないから、待っててください)

▼【好かない】えげすかね

●なんさでも文句言うがら、まずえげすかねごだ。(何回でも文句を言うから、好かない)

▼【たやすい】じよさねえ

●この仕事をするのは、じよさねえな。(この仕事をするのは、たやすいな)

●じよさねえ早く出来た。(たやすいくらい早く出来た)

▼【たやすい・簡単だ】やすこい

●この計算、やすこいなや。(この計算はたやすいな)

▼【どんでもない】らずもねえ

●うっかりすてらずもねえごと、すてすまった。(うっかりしてどんでもないことをしてしまった)

▼【恥ずかしい】おしよすい

●おしよすいから人前さ出たぐねえ。(恥ずかしいから人前に出たくない)

▼【腹が立つ】ごせつばらやげる

●あの人、何すてんだが、この忙しいのに。ごせつばらやげる。(あの人は何をしてるんだか、この忙しいのに。腹が立つ)

▼【本気】ほんこ

●そんなごとと言って、ほんこが。(そんなごとと言って、本気か)

●ほんこにやればもっとできるんだよ。(本気でやればもっとで

きるんだよ)

▼【まぶしい】まつぼい

●おでんとさん、あだってまつぼいごだ。(太陽があたってまぶしい)

▼【やるせない】やっしやね

●この頃、力入らなくてやっしえねえんだな。(この頃、力がはいらなくてやるせない)

▼【容易でない】むせえ

●畑の草取り、むせえごだなや。(畑の草取りは、容易でない)

▼【楽でない】ゆるぐねえ

●頂上まで登るのは、ゆるぐねえ。(頂上まで登るのは楽でない)

●この仕事、ゆるぐねえなや。こええごだ。(この仕事は楽ではない。疲れた)

▼【煩わしい】ずんけねえ

●年とつとわ、何すんのもずんけねえな。(年をとると、何をするのも煩わしい)

19・発言・発話に関わる行為・活動

▼【暗記】そらよみ

- 全部そらよみしたんだ。偉いぞ。(全部暗記したんだそうだ。偉いぞ)

▼【言い返せないこと】おじよもす

- いやあ、あんたの話にはおじよもすいました。いやいや、かなわねえ。おじよもすいた。(あなたの話には言い返せません。いやいや、かなわねえ。降参しました)

▼【言いはる】のっばる

- 自分の考えどこまでものっばって通すから。(自分の考えをどこまでも言いはって通すから)

▼【言いふらす】はやす

- あんまり仲がいいどはやされる。(あんまり仲が良いと言いつらされる)

▼【お世辞】べんちゃら

- あんまりべんちゃら言うな、信用なくすぞ。(あまりお世辞を言うと、信用をなくすぞ)

- いやいや、次から次ど、よぐべらちゃら、言えっこだなや。(次から次へと、よくお世辞が言えることだな)

▼【からかう】しずる

- あんまりしずるなど。後で泣ぐがらや。(あんまりからかうな。後で泣くから)

- しずんのやめるわ、もぞこいべ。(からかうのはやめる。かわいそうだろう)

▼【からかう・横から口を出す】ちよっけかける

- 人の話さちよっけばかりかけているんだがら。(人の話に横から口を出してばかりいるんだがら)

▼【からむ】すっかげる

- なんだべ、お父さん。酒を飲んで女の人さすっかげて、わがんねよ。(お父さん、酒を飲んで女の人からむのはだめだよ)

▼【口答え】つけずごと

- まあず、あんだだらばつけずごとばりして、めんこぐねえごだ。
(あなたは口答えばかりしてかわいくない)

▼【小言】よめえごと

- 姑母様は、よめえごとをしょっちゅう言っがて、おらやんだごだ。
(姑は小言をしょっちゅう言っがて、私は嫌だ)

▼【小言を言うこと】ごしょがだり

- よくごしょがだりばり言っがてるばんつあんだなや。(よく小言ばかりを言っがっている婆さんだな)
- おらいのじいちゃん、いつもごしょかだがってから、誰もそばさ行かねべ。(私の家の爺さんは、いつも小言を言っがっているから、誰もそばに行かないだろう)

▼【しつこく追及すること】ごんぼほり

- まあず、あの人、ごんぼほりばりして自分側の意見ば通すんだおんね。(あの人しつこく追及して、自分の意見を通すんだ)

▼【冗談】おどげ

- いやあ、あのおどげ語りで、おもしえごだなや。(あの人ば冗談を話す話す人で、おもしろい)

▼【悪口】さんぞ

- あの人、さんぞばりかだがてる。(あのおどげは、悪口ばかり話している)

20・飲食に関わる行為・活動

▼【食べる】くう

- おれもくうがら寄こせ。(私も食べるから、寄こせ)

▼【食べ終わる】くいげる

- お客さん来っから、早くくいげさい。(お客さんが来るから、早く食べ終わりなさい)

▼【食べさせる】かせる

- こいつ珍すいもんだがら、早くほらみんなさかせる。(これは珍しいものだから、早くほらみんなに食べさせる)

▼【食べられない】かんね

- ああ、もうだめだ。腹くつつくて、もうかんねわ。(もうだめだ。満腹でもう食べられない)

▼【丸飲み】いぎのみ

- いぎのみすつと、ひっかけるよ。(丸呑みすると、喉にひっかけるよ)

21・移動に関わる行為・活動

▼【行き会う】いじやう

- 久すいぶりに内田さんにいじやうって話したやあ。(久しぶりに内田さんに行き会って、おしゃべりした)

▼【行こう】あばい・あばいん

- 一緒にあばいん。買い物さあばいん。家さばかりいねで。(一緒に行こう。買い物に行こう。家にばかりいないで)

▼【追い越す】かっとす

- 運動会で、まだ田中にかっとされてしまった。(運動会で、まだ田中に追い越されてしまった)

▼【出かける】ではる

- 買物にではってった。(買い物に出かけた)

▼【通り越す】とっこす

- あそこの道をとっこして行ってしまったや。(あそこの道を通り越してしまった)

▼【通り過ぎる】つんぬげる

●ひとつ路地、つんぬげでしまったや。(一つ路地を通り過ぎてしまった)

▼【通り過ぎる】とんのげる

●あや、なんだや、買い物する店、とんのげてすまったわや。(買い物する店を通り過ぎてしまった)

▼【乗る】のさる

●よがったら車さのさってあばいん。(良かったら車で行こう)

▼【ほっつき歩く】ずるべまわる

●何すったんだが。あの人、ずるべまわってるなあ。(何したんだか。あの人ほっつき歩いているな)

▼【曲がる】むずる

●田中さんの家は左にむずって右側にあるっちゃ。(田中さんの家は、左に曲がって右側にあるよ)

22・心情・思考に関わる行為・活動

▼【相手に自分の意志を押しつけること】そべっこ

●また、そべっこして。(また甘えて)

▼【苛立っている・怒っている】むせる

●なに気にさわったんだが、おせながらしゃべってるぞ。(何が気にさわったのか、怒りながらしゃべっているぞ)

▼【意地悪】いづくされ

●そんなにいづくされすんな。(そんなに意地悪をするな)

▼【うるたえる】ほろまぐ

●財布落どすてほろまいだんだ。(財布を落としてうるたえたそうだ)

▼【怒る】ごっしゃぐ

●いやあ、おら昨日遅く帰ってや、親父さんからごっしゃがったや。(私は昨日遅く帰って、父親から怒られた)

▼【思い出す】あじだす

● なつかすいこだな。昔のごと、あずだすたあ。(懐かしい)

ことだな。昔のことを思い出す)

● ほういえば、あそごさすまっただのか。あずだすたや。(そう
いえば、あそこに仕舞ったのか。思い出した)

▼【知らない・しかたがない】しゃね

● なあ、母ちゃん、どこさ行ったがしゃねが。(お母さん、どこ
に行ったか知らないか)

● ああ、あいづ、まだちゃっこいながら、しっぺえしたってしゃね
っちな。(あいづはまだ小さいから、失敗しても仕方がない)

▼【心配】すんべ

● 何にもすんべえいらねえがら待っててけさいん。(何も心配い
らないから待っていてください)

▼【すねる】むつける

● むつけてばりいると、仲間さ入れられねど。(すねてばかりい
ると、仲間に入れないよ)

▼【駄々をこねる】ずごねる

● 孫、何が買ってけねどすぐはずごねで困るんですが。(孫は何
か買ってあげないと、すぐに駄々をこねて困るんです)

▼【調子に乗る】おがる

● 黙ってっとおがるから、途中で止めさいん。(黙っていると
調子に乗るから、途中で止めなさい)

▼【調子に乗る】おだづ

● おだづもっこばりしてやめる。(調子に乗ってふざけてばか
りいるのはやめろ)

▼【調子に乗せる・おだてる】おがす

● あんまりおがすな。調子に乗っから。(あんまりおだてるな。
調子に乗るから)

▼【目で分量を量ること】めがん

● めがんでこれは十キロあるな。(目分量では十キロはある)

▼【面倒くさがること】いつかんなぎ

●いつかんなぎすねで、ちゃんとしろな。(面倒くさがらないで、ちゃんとしろ)

▼【持て余す】ししゃます

●畑の草、ぼうぼうと伸びてすまって、一人ではししゃまするな。(畑の草が伸びてしまっって、一人では持て余すな)

●あんまり物あつて、整理すんのししゃまするなや。(あまりにも物があつて、整理するのは持て余すな)

▼【忘れる】わしえる

●何回言つても、わしえるんだがら。(何回言つても、忘れるんだから)

23・労働(家事・農作業・就業)に関わる行為・活動

▼【稲を乾燥させること】はせがけ

●この頃は、はせがけしてつこねえな。(この頃は、稲を乾燥させる方法を実践している所がないね)

▼【乾かす・干す】はしやがす

●洗濯物はしやいだがらおつこめ。(洗濯物を乾かしたから取り込め)

▼【仕事がかどらないこと】はがいがね

●畑仕事、はがいがなくて困つてしまつたや。(畑仕事がかどらなくて困つてしまつた)

▼【磨り白を引くこと】するすびぎ

●するすびぎすつから、手伝いさ来てけらいん。(磨り白で引くから、手伝いにきてください)

▼【膳にのせる】つこえる

●ほいだぎでたんねえがら、おひたしばもつこえさい。(それだ

けでは足りないから、おひたしも膳にのせなさい)

▼【雑巾がけ】いだめふぎ

●いだめふぎすつと、ここもつと美すいぐなつと。(雑巾がけをする、ここがもつと美しくなる)

▼【田畑を耕し、畝を作る】うなう

●今日中に田うなえよ。(今日中に田畑を耕して畝を作れよ)

▼【手伝い】おでつて

●おでつてさ行つてこう。(手伝いに行こう)

▼【夜間灯をともして漁をすること】よどぼし

●今夜、よどぼしして魚とつてきたんだ。(今夜、夜間灯をともして魚をとつてきたんだ)

▼【夜なべ】よわり

●よわりして、着物縫い上げだ。(夜なべをして着物を縫い上げた)

▼【結い(人手を頼むこと)】よいっこ

●農繁期には、よいっこした。(農繁期には、人手を頼んだ)

●畑仕事よいっこしねど、一人でできねぐなつた。(畑仕事は人手を頼まない、一人でできなくなった)

▼【結い返し(人手を借りること)】よいなす

●昔は、田植え、よいなすすたもんだ。(昔は田植えで人手を借りた)

▼【郵便物を出す】たてる

●葉書たててけるな。(葉書を出してくれ)

●手紙書いたがら、たててけらいん。(手紙を書いたから、出してください)

24・睡眠・休息に関わる行為・活動

▼【居眠り】ねむかけ

● 飯食った後、なんだかねむかけしたくなるなあ。(ご飯を食べた後は、なんだか居眠りしたくなる)

● 車運転、ねむかけしてわがんねど。(車の運転で居眠りをしてはだめだぞ)

▼【うたた寝】きどころね

● そんな所できどころねすつと風邪引くど。(そんな所でうたた寝すると風邪を引くよ)

● 炬燵に入って、ついきどころねすてすまった。(炬燵に入っ
て、うたた寝してしまった)

● きどころねばりすつから風邪ひくんだど。(うたた寝ばかりし
ているから、風邪を引くんだよ)

▼【腰を降ろすこと】いすかれ

● 疲れたべ、ぼうつと立ってねでいすかれ。(疲れたでしようか
ら立ってないで腰をおろしなさい)

▼【座る】ねまる

● ちよつとあんだ、相談あつから、ここさねまってけさいん。(ち
よつと、相談があるから御座に座ってください)

▼【暇つぶし】ひまだれ

● あの人来て、ひまだれして仕事はがいがねがった。(あの人
来て暇つぶしして、仕事はかどらなかつた)

▼【横になる】ながぐなる

● そんなどこさながぐなるって、風邪ひくよ。(そんな所で横にな
って、風邪ひくよ)

▼【寄りかかる】おっかがる

● 腰痛えから、おっかがるものがあつといいな。(腰が痛いから、
寄りかかるものがあると良いな)

● そいつさおっかがつと、危ねえぞ。(それに寄りかかると危な
いぞ)

25・汚損・破壊・切断に関わる行為・活動

▼【折る】おちちよる

●桜の木、おちちよってだめだど。(桜の木を折ってはだめだ)

▼【掻く】かっつあぐ

●虫にささったどご、痒くて痒くてかっつあいでしまったや。
(虫に刺されたところが痒くて痒くて、掻いてしまった)

▼【傷をつける・切り目をつける】きっぱつける

●あいや、その手、何したの、きっぱつけでわ。(その手、どうしたの。傷をつけて)

●この袋、きっぱつけておくと、あと楽だど。(この袋、切り目をつけておくと、後で開けるのに楽だぞ)

▼【切る】ちったぎる

●もってねえがらやあ、振袖の袖ばちったぎって訪問着にしたのっしや。(持っていないから、振袖の袖を切って訪問着にした)

▼【削る】へずる

●鉛筆ばへずっておいだがらね。(鉛筆を削っておいだからね)
●あやあ、もう少すへずつとかっこいいんでねえが。(もう少し削ると格好が良いのではないか)

▼【こぼす】まげる

●コップの水、まげねようにもっていがいん。(コップの水をこぼさないように持って行きなさい)

▼【壊す】ぶっちゃぐ

●おら、母ちゃん大事にしてだ茶碗ぶっちゃいでしまったわや。
(私は、お母さんが大事にしていた茶碗を壊してしまった)

▼【染みる】ぶちる

●あいや、おつゆこぼすて、ここぶちでしまったんでねえがわ。
(お汁をこぼして、ここに染みてしまったのではないか)

▼【汚す】そぎす

●大事な本だがら、そぎすなよ。(大事な本だから汚すなよ)

▼【汚れる】まぶれる

●泥まぶれになって、汚ねえぞだ。(泥で汚れて、汚いことだ)

26・剥奪・剥落・落下に関わる行為・活動

▼【奪い合う】ばやう

●またばやって泣いてだ。(また奪い合って泣いていた)

▼【(堀や川などに)落ちる】けっぱりくう

●釣りっこさ行ってけっぱりくった。(釣りに行って川に落ちた)

▼【(池、川、沼などに)落ちる】つつべる

●いやいや、つつべっちゃまったや。かぶだれして。(いやいや、川に落ちてしまった。水浸しだ)

▼【落とす】ほろぐ

●どこさ財布いったんだが。おら、ほろってしまったなや。(どこに財布はいつてしまったのか。私は落としてしまったんだな)

●うわあ、着物さ泥ついた。早くほろげ。(着物に泥がついた。早く払って落とせ)

▼【はがす】へがす

●張り紙へがすてこい。(張り紙をはがしてこい)

▼【盗む】がめる

●あそこの畑から大根がめってきた。(あそこの畑から大根を盗んできた)

27・育成・成長に関わる行為・活動

▼【産む】なす

●隣の嫁さん、おぼこなしたんだと。(隣のお嫁さんが、赤ん坊を産んだそうだ)

▼【老いる】とっしよる

●なんだ、何もすねでほだごとしてっど、とっしよるよ。(何もしないでそんなことしていると、年取るよ)

▼【大きくなる】おがる

●わらすたち、おがるの早いなやあ。(子どもたちは、大きくなるのが早いな)

●すいばらく見ねうづに随分おがったごと。(しばらく見ないうちに大きくなったこと)

▼【成長がとまる】こつける

●すいばらく雨降んねえがら、こつけて伸びなくてなや、こんでは人さやらんねえよ。(しばらく雨が降らないから、成長が止まって伸びなくて、これでは人にあげられない)

▼【成長がとまる】おがりこつける

● いやあ、肥料、足んねかったのがや。この野菜、おかりこつけでなや。(肥料が足らなかったのかな。この野菜の成長が止まったな)

▼【育てる】おがす

● あんや、庭の花とか野菜、おがしてんだな。(庭の花とか野菜を育ててるんだな)

▼【芽が出る】めめぐる

● 春だな、野菜めめぐってきたわ。(春だな、野菜の芽が出てきた)

▼【芽が出て大きくなる】ほぎる

● もづくさ、ほぎでっから取ってこい。(ヨモギの芽が出て大きくなったから、採ってこい)

28・対象に働きかける行為・活動

▼【勢いよく出す】つんだす

● つんだすんでねえ、そつとな。(勢いよく出すのではない。そつとな)

▼【いじる・触る】ちよす

● 珍すいいからって、ちよすな。(珍しいからって、いじるな)

▼【追い出す】ぼんだす

● あそこの家の嫁さん、ぼんだしたんだど。(あそこの家の嫁さんを追い出したんだそうだ)

▼【追い立てる】ぶったぐる

● あやあ、あそこさいた雀、ぶったぐってこい。(あそこにいた雀を追い立ててこい)

▼【追い払う】ぶぐる

● いやあ、どこの犬だが、早くぶぐれ、ぶぐれ。(どこの犬だが、早く追い払え)

▼【かき混ぜる】かんまじえる

●よくつどかんまじえっと味いぐなつど。(よくかき混ぜると、味が良くなるよ)

▼【(狭い空間を)かき回す】あざぐ

●誰だや、こだに引き出しん中、あざいで。(誰だ、こんなに引き出しの中をかき回して)

▼【噛みつく】かぶづぐ

●いやいや、犬、急におれの足さ急にかぶづいてきたんだぞ。いや、おっかねえなや。(犬が急に私の足に急に噛みついてきたんだ。怖い)

▼【着物の腰上げをすること】こっしやげ

●こっしやげしながら、ちようどやんべだな。(着物の腰上げをしたから、ちようど良い具合(塩梅)になった)

▼【蹴る】けっばる

●邪魔な石があったから、けっばった。(邪魔な石があったから蹴った)

▼【蹴る】けっばづく

●歩きながらボールをけっばづく人いっけども、危ねえごだ。(歩きながらボールをける人がいるけれども、危ないごだ)

▼【故意に後ろから押す】つんのめす

●なんだべ、あの人、おればつんのめしてもごめんも言わねんだから。(なんだろう、私を後ろから押しても、ごめんも言わないんだから)

▼【先に手を出すこと】てそずらすい

●あの人、待ってらんねんだおんね。てそずらすいごだ。やんだぐなるごだ。(あの人、まっていられないんだもの。先に手を出してしまうこと、嫌になる)

▼【聞いているものを払げる】はだげる

●おら、あの服欲しくて、財布、はだげで払ったよ。(あの服が

ほしくて、財布の口を拡げてお金を払ったよ)

▼【失敗する】そべぐる

● ケーキ、作ったんだけど、おらそべぐってしまったっちゃ。
(ケーキを作ったけれども、失敗してしまった)

▼【しゃぶる】くっちゃぶる

● 何だや、あんた、ほだにまでに袋までくっちゃぶって。(そんなにまで袋までしゃぶって)

▼【邪魔をすること】じゃまっぱり

● いやいや針仕事、孫来て、じゃまっぱりするがら、なかなかかどんねえごだ。(針仕事をしている最中に孫が来て邪魔ばかりするので、仕事がかどらない)

▼【束ねる】まるぐ

● 稲まるがねしてねえね。(稲を束ねていないね)

▼【散らかす】ぶつつらがす

● 喧嘩して部屋中、ぶつつらかしたんだおん。(喧嘩して部屋の中を散らかしたんだ)

▼【つかえ棒をする】つっぱりかる

● 倒れそうだがら、つっぱりかけておげ。(倒れそうだから、つかえ棒をしておけ)

▼【取り返し損ねる】とりっぱぐる

● 貸した金をとりっぱぐった。(貸した金を取返し損ねた)

▼【取り替える】とっける

● 服をよごすたがらとっけつがらね。(服を汚したから取り替えるからね)

▼【殴りつける】かっくらづける

● 言う事きかねどかっくらづけつぞ。(言うことを聞かないと、殴りつけるよ)

▼【投げつける】ぶつつける

●他の人さぶっつけでわがんねがらね。(他の人に投げつけてはだめだからね)

▼【塗る】ぬだぐる

●ペンキぬだぐったら、見栄えよぐなったね。(ペンキを塗ったら、見栄えが良くなった)

▼【吐き出す】ほぎだす

●あさり汁を飲んでいたら、砂が混じっていたのでほぎだした。(あさりのみそ汁を飲んでいたら、砂が混じっていたので吐き出した)

▼【貼る】ねっばす

●はがれでっからねっばすておけ。(剥がれているから貼っておけ)

▼【引き抜く】しんぬぐ

●大根、大きくなったがら、しんぬいで持っつけ。(大根が大きくなったから、引き抜いて持っつけ)

▼【ひっくり返す】ひっつるげす

●カレー鍋、ひっつるげすてしまった。(カレーの鍋をひっくり返してしまった)

▼【もみくちゃにする】もじゃぐる

●大切な書類をもじゃぐるて捨ててしまった。(大切な書類をもみくちゃにして捨ててしまった)

▼【持ち上げる】もっちゃげる

●こいつも、もっちゃげでせ。(これを持ち上げてください)

▼【燃やす】つんむす

●学校のストーブであだってだら、ズボンつんむすてすまった。(学校のストーブであたっていたら、ズボンを燃やしてすまた)

●何つんむすしてんだが煙てごだ。(何をもやしているんだか、煙たいごだ)

▼【「結いつける」ゆっける

● 忙しいがら、赤ん坊を柱さゆっけておけ。(忙しいから、赤ん坊を柱に紐で結いつけておけ)

▼【「湯水に浸す」うるがす

● 餅つくがら、米、うるがすかららわ。(餅を搗くから、米を湯水に浸す)

● 汚れたがら、うるがして洗うといい。(汚れたら、湯水に浸してから洗うと良い)

▼【「分けること」わっぶ

● 一つのをわっぶして食えよ。(一つの物を分けて食べるよ)

29・人間関係・社会生活に関わる行為・活動

▼【「いたずら」わっしゃ

● そんな事、わっしゃしてだめだぞ。(そんな事、いたずらしてはだめだぞ)

▼【「一文無しになること」ほろほろになる

● ほろほろになるまで飲むな。(一文無しになるまで飲むな)
● 仕事もすいねで遊んでばりいたら、ほろほろになるぞ。(仕事もしないで遊んでばかりいたら、一文無しになるぞ)

▼【「お節介をやく」ちょっけだす

● ちょっとちょっと今大事な話だがら、ちょっけださないでけさいん。(ちょっと、ちょっと、大事な話だから、お節介をやかないでください)

● おれひとりできがら、ちょっけだすなよ。(私一人できるから、お節介をやくなよ)

▼【「金を使わせる・もてなされる」おいだみかける

● 急に来たのに、こんなにすてもらって、おいだみかけました。(急

に来たのに、こんなにしてもらってお金を使わせてしまいました。
した)

●お昼にたいすいたごっつおになって、おいだみかけずた。(お
昼に大変ご馳走になって、お金を使わせました)

▼【義理を果たすこと】ぎりすべ

●何かあった時はしゃあ、顔出すすてぎりすべするものなんだ
ど。(何かあった時は、顔を出して義理を果たすもんなん
だ)

▼【だらしなくすること】だらぐ

●まず家の中、だらぐしてつから、足の踏み場もねえ。(家の中
でだらしなくしているから、足の踏み場もない)

▼【つけあがる】ぬさばる

●あの人、田中さんにぬさばってばりいるんだよ。(あの人、田
中さんにつけあがってばかりいるんだ)

▼【出鼻を折る】はなころせめる

●偉そうなこと言うがら、はなころせめてやった。(偉そうなこ
とを言うがら、出鼻を折ってやった)

▼【なすりつける】かつける

●悪い事友達さかつけるな。(悪い事を友人になすりつけるな)

▼【入学する】つく

●今年からおらいの孫、小学校さつくんだ。(今年から、私の家
の孫は小学校に入学する)

▼【願いが叶う】うげもうされる

●あの神社さお参りすつと、うげもうされつど。(あの神社にお
参りすると、願いが叶う)

▼【励ます】せごえかける

●なんだ、友達、元気ねえごだ。みんなでせごえかけつべ。(友
達の元気がないようだからみんなで励まそう)

▼【不幸】ぶっしやわせ

● なんだって、ぶっしやわせなごどだ。(不幸せなことだ)

▼【訃報の知らせ・訃報を知らせる人】ししやせ

● あの家の人亡くなったんだね。あんた、ししやせ頼むからね。(あの家の人が亡くなったそうだ。あなたに訃報の知らせを頼むからね)

▼【弁償する】まやう

● 器壊してしまったがら、まやうので許してけさいん。(器を壊してしまったから、許してください)

▼【土産を持たないこと】からつら

● よくからつらできたごど。(土産を持たないで、よく来たな)

▼【無料で入場すること】べろんこ

● サークスやってるな。べろんこすんなよ。(サークスをやってるな。無料で入場するなよ)

▼【やっつける】やっちゃめる

● あいづ、悪い事ばりすっからやっちゃめつか。(あいづ、悪い事ばかりするから、やっつけようか)

● あいづ、生意気だからやっちゃめでやっぺな。(あいづ、生意気だから、やっつけてやるうな)

▼【野次馬で人が集まる】よったがる

● あその家さんがよったがって、何か話してんだっけよ。(あその家に野次馬がたくさん集まって、何か話してんだよ)

▼【余計な世話】おずはっちゃ

● 隣のおばちゃん、おずばっちゃしてくっから何にも話できね。(隣のおばあさんは、余計な世話をしてくるから、何も話ができない)

▼【余計な世話をする】さっぺする

● またさっぺして。やめとげばいいのに。(また余計な世話をして。やめておけばよいのに)

● おれ一人ですっからさっぺすんな。(私一人でするから、余計な世話をするな)

▼【呼ぶ】よばる

●お茶飲みさ田中さんよばっぺ。(お茶飲みに田中さんと呼ばう)

▼【嫁入りする】むがさる

●隣の娘、むがさって行くんだ。 (隣の娘、嫁に行くんだそう

だ)

▼【寄りつく】よってづく

●あの人いつつも、うちさよってづくんだ。(あの方は、いつも家に寄りつくんだ)

●あそこの家さ、よってづがなくなった。(あそこの家に寄りつかなくなった)

30・身体の動き・状態・変化

▼【仰向け】あおのげ

●あおのげに寝て天井見てみる、何が見える。(仰向けに寝て天井を見てみる。何が見える)

▼【温まる】ほどる

●温泉さ行ってほどる。(温泉に行って温まる)

▼【浮かぶ】うぎる

●やあ、水さやっとうぎるようになったな。もっと練習すつと、うまくなつと。(水にやっとうかぶようになったな。もっと練習すると、うまくなる)

▼【うづくまる】すぐだまる

●森の中さ入って、おっきな木がお化けに見えて、すぐだまってしまった。(森の中に入って大きな木がお化けに見えて、うづくまってしまった)

▼【背負われる】おぶさる

●寒いながら、歩がねで早くおぶされ(寒いから歩かないで背負われろ)

▼【かがむ】ここまる

●いや、ひじゃかぶ痛くてここまらんねば。(膝が痛くて、かがめない)

●急に腹いだぐなって、ここまってしまった。(急に腹痛になって、かがんでしまった)

▼【転ぶ】ひっころぶ

●わぁ急いで来たがら、ひっころんだや。(急いでいたから転んだ)

▼【倒れる】のめる

●何、急いでんだが。のめるように歩いてるね。(何を急いでいるのか。倒れるように歩いているね)

▼【小さくなる・縮こまる】つんつこまる

●寒くてつんつこまった。(寒くて縮こまる)

▼【つまづく】つまける

●転ぶがら、つまけんよ。(転ぶからつまづくなよ)

▼【手で鼻をかむこと】つかんばな

●あの人、歩きながらつかんばなすたっけよ。(あの人、歩きながら手で鼻をかんだよ)

●誰見てっかわがんねがら、つかんばなして歩くなや。(誰が見てるかわからないから、手で鼻をかむな)

▼【でんぐり返り】くらんげり

●おらいの孫、たいしたくらんげりじゃんだよ。(私の家の孫は、とてもでんぐり返りが上手だよ)

●あんだ、くらんげり、何回できたの。(あなたは、でんぐり返りが何回できたの)

▼【覗く】まがってみる

●何してっか、まがってみる。(何をしているのか、覗いてみる)

▼【入り込む】ささる

- 毎日お茶飲みしていてあの人の家さささってばりいる。(毎日お茶飲みばかりしていて、あの人の家に入り込んでばかりいる)

▼【腹違いになる】ぬだばる

- ぬだばって何してる。(腹違いになって何してる)

▼【伏せる】のだばる

- のだばってだめだ。汚れっから。(伏せるのはだめだ。汚れるから)

▼【踏む】あがる

- 本の上さあがってわがんねえ。(本を踏んではだめだ)

▼【へこむ】ししげる

- 缶のおもちゃ、ししげっている所あって、もってねえながったな。

(缶のおもちゃにへこんでいる所があって、もったいなかったな)

▼【目を閉じる】くっちゃぐる

- 目くっちゃぐったら、目薬さんねっちゃや。(目を閉じたら、目薬がささらないよ)

▼【柔らかくなる】うるげる

- 水ちよすったら、手の指うるげてすまった。(水をいじったら、手の指の皮が柔らかくなってしまった)

▼【よろける】よろばる

- 家の中でよろばっても、怪我すっから気つけさいね。(家の中でよろけても、怪我をするから気をつけなさいね)

31・遊び・運動

▼【(籤や賭けで) 当てる】とすける ※「とつける」とも言う。

●一銭店でとすけて、おら一等賞だ。(駄菓子屋で籤をして、私は一等賞を当てた)

●十円で何とすけられんの。(十円で何が当たるの)

▼【お手玉】さんめす

●遊び時間のさんめす、おもしえがったな。昔はさんめすで遊んだもんだ。(遊び時間のお手玉、おもしろかった。昔はお手玉して遊んだものだ)

▼【おはじき】つぼこ

●みんなすてつぼこすつべ。(みんなで、おはじきしよう)

▼【かくれんぼ】かくれかご

※「かくれっこま」「かくれまっこ」とも言う。

●みんな集まれ、かくれかご、すつとう。(みんな集まれ、かくれんぼするぞ)

▼【駆けっこ】はしくら

●さあ、学校まではしくらすつべ。(さあ、学校まで駆けっこしよう)

●今日、運動会ではしくらすて何等になった。(今日の運動会で駆けっこして何等になった)

▼【じゃんけん】えすけん

●さあ、みんなでえすけんすて順番決めつべ。(みんなでじゃんけんして、順番を決めよう)

▼【凧】てんばた

●良い風吹いできたから、てんばた揚げてこう。(良い風が吹いてきたから、凧を挙げてこい)

▼【土いじり】つづごね

●子どもの頃、つづごねして遊んだっちゃんね。(子どもの頃、土いじりをして遊んだよね)

▼【ままごと遊び】おままだっこ

●また、おままだっこして遊ぶべし。(またおままごとして遊ぶね)

▼【水遊び】みずあぶり

●わぁ、暑いから川さ行って水あぶりでもしてくっか。(暑いから川に行って、水遊びでもしてくるか)

▼【めんこ】ぱった

●こっちゃんこ。ぱったすて遊ぶべ。(こっちに来い。めんこして遊ぶ)

32・相槌・疑問・呼びかけ・まじないなどの表現

▼【あのね】あのねれ ※使用例のみ音声あり

●あのねれ、あそこの家の娘っこ、今度嫁に行くんだ。 (あのね、あそこの家の娘さん。今度嫁に行くんだそう)

●あのねれ、明日飲み会あるの知ってた。(あのね、明日、飲み会があるの知ってた)

▼【買い物で店の人を呼ぶ表現】もうす

●もうす、誰かいますか。(お店に誰か、いますか)

▼【そうだ】んだ

●んだんだ、そうなんだって。(そうそう、そうなんだって)

▼【そうです】そっしゃ

●「あなたの家で畑売ったんだって」「そっしゃ、売ったのっしゃ」(「あなたの家で畑を売ったんだって」「そうです、売ったのです」)

▼【「そうですね」んだねや

●「天気、良くなるようだね」「んだねや」（「天気、良くなる
ようだね」「そうですね」）

●「雨ぱり降って、何ぬもできねえ」「んだねや、寝てるすかね
えな」（「雨ばかり降って、何にもできない」「そうですね、
寝ているしかないね」）

▼【「そうですね」んだっちゃ

●んだっちゃ、おらもそう思うがす。（そうですね、私もそう思
います）

▼【「どうする」なじよする

●あの話、なじよする。（あの話、どうする）

▼【「どうにもこうにも」なじよにもかじよにも

●あんだだちの話も聞いても、なじよにもかじよにもなんねえ。
（あなたたちの話を聞いても、どうにもこうにもならない）

▼【「雷や地震に遭った時に唱える言葉」まんぜらぐ

●おれさまの音、大きいごだ。まんぜらぐ、まんぜらぐ。（雷の
音が大きい。まんぜらぐ、まんぜらぐ）

▼【「小さな子どもをあやす言葉」めんこめんこ

●めんこめんこだから、泣くな。（めんこ、めんこだから、泣
くな）

▼【おはようございます】おはよがす

●おはよがす。今日も寒いごだねや。（おはようございます。今日も寒いですね）

●おはよがす。今日も良い天気だなや。（おはようございます。今日も良い天気ですね）

▼【こんばんは】おばんなりした

●おばんなりした。回覧板、持って来たすと。（こんばんは。回覧板、持ってきましたよ）

●おばんなりした。では、おみようぬづ。（こんばんは。では、また明日）

▼【さようなら】おみようぬづ

●ほんでまず、おみようぬづ。（それでは、さようなら）

●今日も夕方まで、お茶飲みすいてすまったなや。では、おみようぬづ。（今日も夕方まで、お茶を飲みながらおしゃべりしてしまっただね。では、さようなら）

平成三十年度 被災地における方言の活性化支援事業
被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開
― 名取市における市民団体の協力による方言の音声資料 ―

声で残す名取のなつかしい方言集

二〇一九年（平成三一年）三月十四日 印刷

二〇一九年（平成三一年）三月二〇日 発行

榎引祐希子（大阪教育大学）

「方言を語り残そう会」（宮城県名取市・代表 金岡律子）

発行所 東北大学方言研究センター

〒九八〇―八五七六 仙台市青葉区川内二七―一

電話〇三二（七九五）五九八七



東北大学

声で残す名取のなつかしい方言集

2019年3月

東北大学方言研究センター